

生成AIで実現する「成果の出る」
ナレッジ管理の方法とは
～いままでのナレッジ管理に成果を感じない理由と解決策～

ビジネス環境の課題

ナレッジ管理を行う理由と課題

ナレッジ管理を促進する方法

ナレッジ管理の未来

ナレッジ管理ツール『ONES Wiki』

『ONES Wiki』の生成AI機能

利用するには

生成AIによるナレッジ管理の実現
について

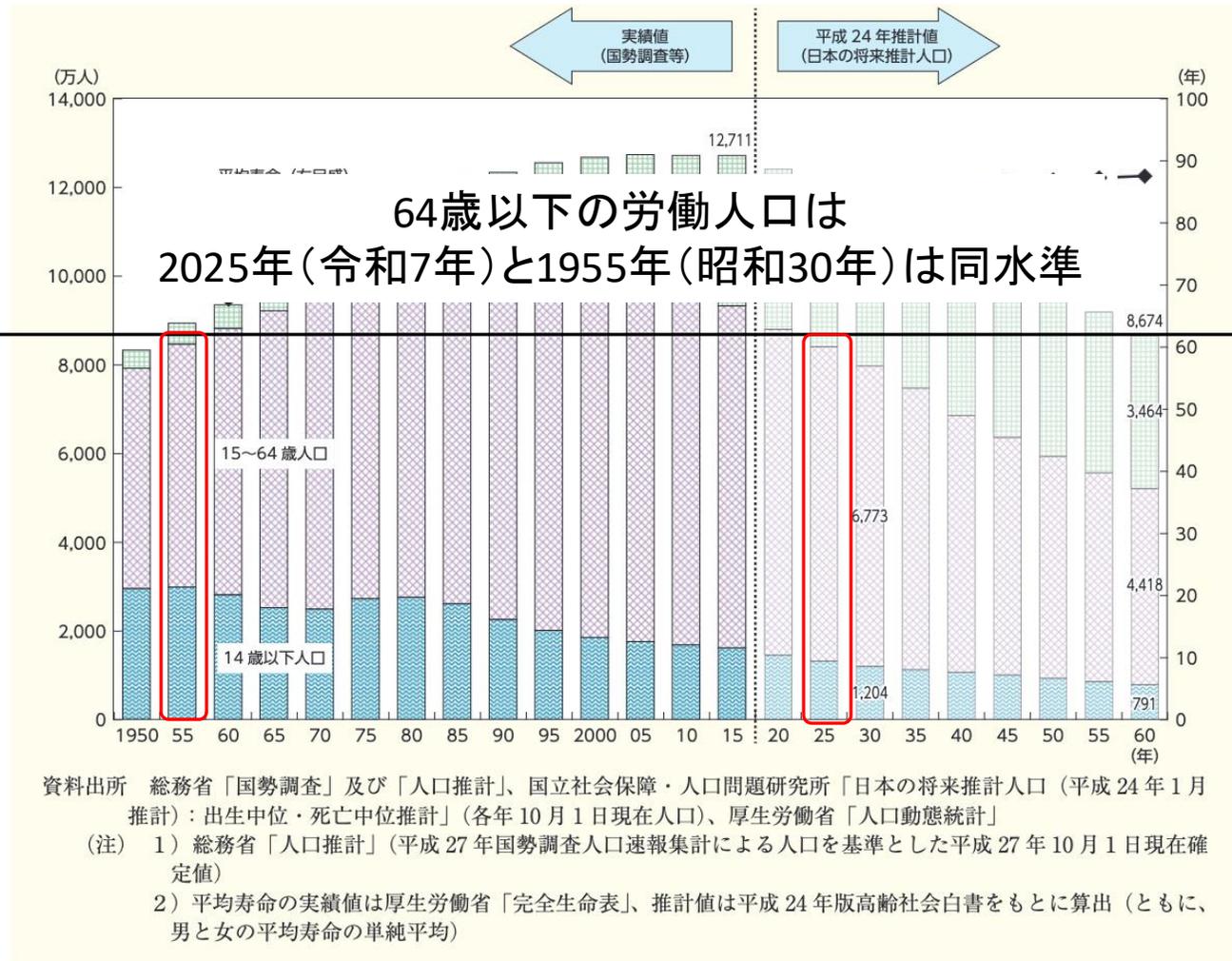
厚生労働省の発表

厚生労働省の
発表情報

労働人口減少への
対策

日本の生産性に
ついて

影響について



厚生労働省『人口減少下の中で誰もが活躍できる社会に向けて』第三章

<https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/roudou/16/dl/16-1-3.pdf>

労働人口減少への対策

厚生労働省の
発表情報

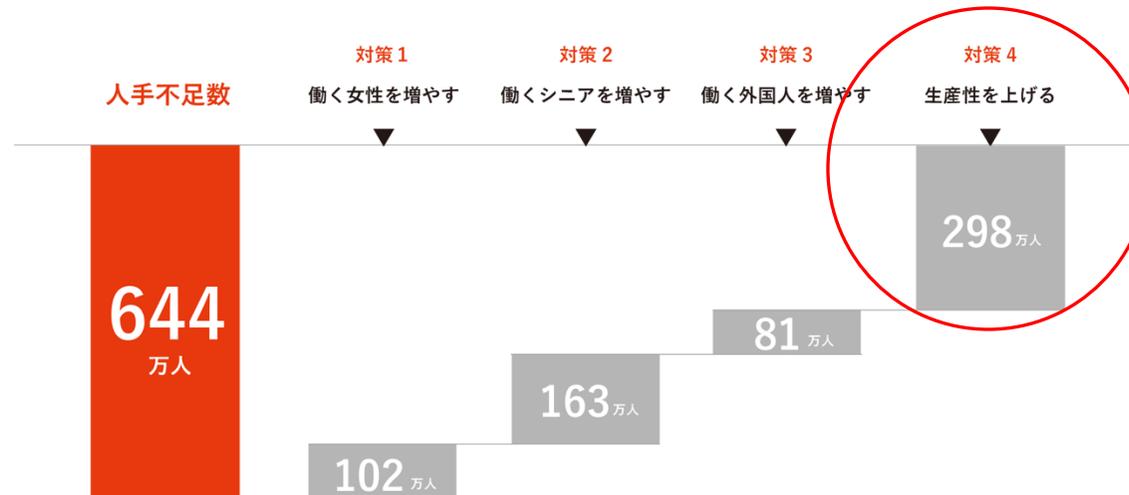
労働人口減少への
対策

日本の生産性に
ついて

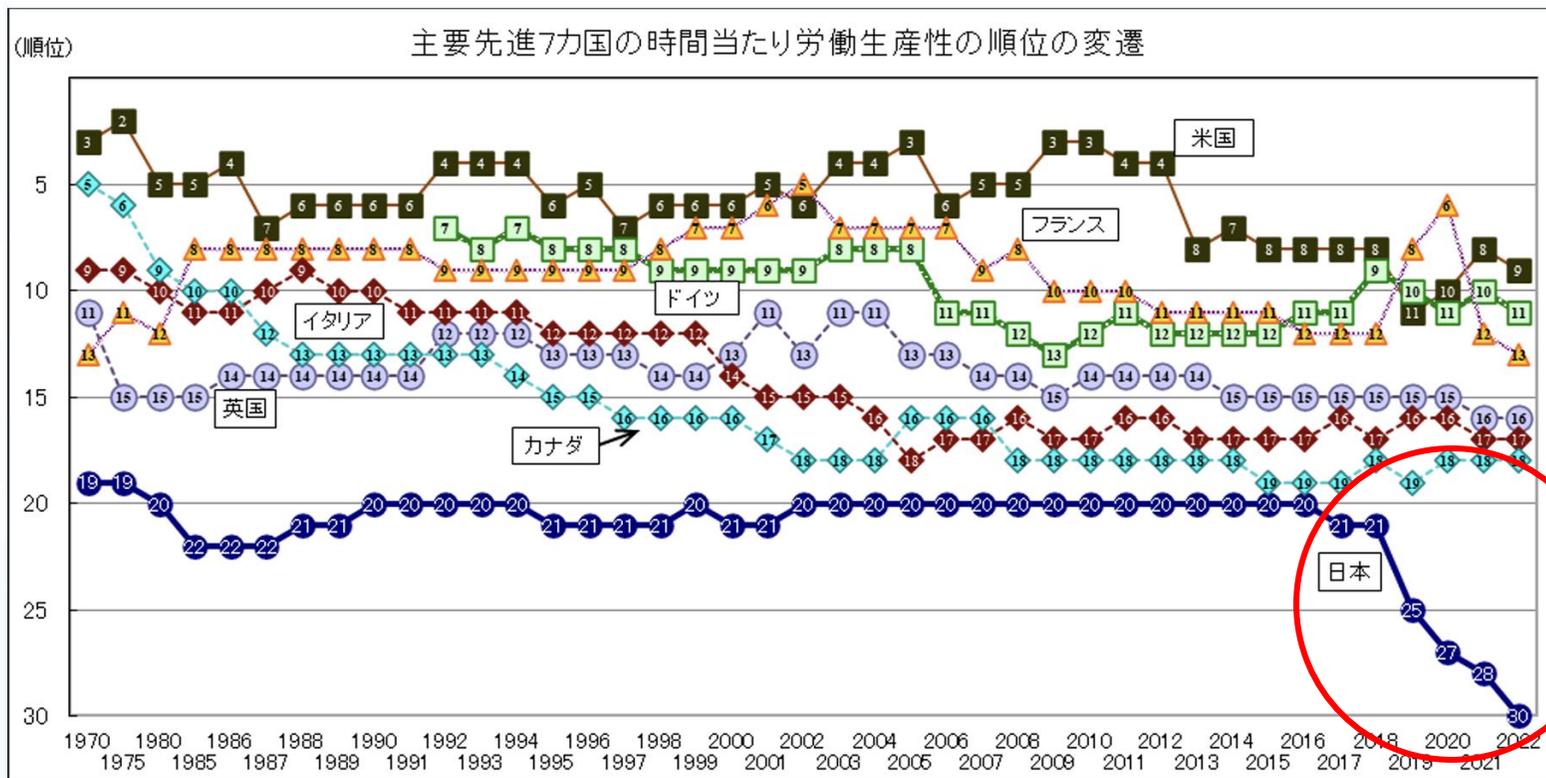
影響について



労働市場の未来推計 2030(パーソル総合研究所) 2019年2月1日発表
<https://rc.persol-group.co.jp/thinktank/spe/roudou2030/>



日本の労働生産性の順位推移



日本は、以前より、先進7カ国のなかでも最下位の生産性であったが、2018年から一気に多くの国々に抜かれ、30位に急落している。

出典：公益財団法人 日本生産性本部 『労働生産性の国際比較2023』より

厚生労働省の
発表情報

労働人口減少への
対策

日本の生産性に
ついて

影響について

日本のAIランキングの推移

	2020年	2021年	2022年
1	米国	米国	米国
2	中国	中国	中国
3	イギリス	イギリス	イギリス
4	フランス	カナダ	ドイツ
5	カナダ	フランス	カナダ
6	ドイツ	ドイツ	フランス
7	スイス	スイス	韓国
8	日本	韓国	スイス
9		日本	イスラエル
10	イスラエル		日本

(出典)Thundermark Capital「AI Research Ranking 2022」を基に作成

<https://thundermark.medium.com/ai-research-rankings-2022-sputnik-moment-for-china-64b693386a4>

サンダーマーク・キャピタル社が発表した情報によると『国別AIランキング（Top10）の推移』で、日本は2020年から2022年にかけて10位以内にランキングされているが、年々順位が低下している。

また『2022年にAI研究をリードする世界トップ100組織』においては、日本の組織は理化学研究所、東京大学、NTTの3つの組織しかランキングされていない。日本で最もAI研究に投資している理化学研究所でも51位となっている。

厚生労働省の
発表情報

労働人口減少への
対策

日本の生産性について

影響について

対策を放置することで多大な影響

労働人口減少に対して、組織がいままでのやり方を変えず、対策を怠った場合に引き起こされる主な8つの影響について

1. 人材の確保が困難になる
2. 人件費の増加
3. 業務負担の増加
4. 知識（ナレッジ）の喪失
5. 組織の柔軟性の低下
6. 組織文化への影響
7. イノベーションの停滞
8. リーダーシップの課題

自覚症状を感じたら、すでに手遅れになる可能性
悪循環となり、元に戻ることは厳しくなる

厚生労働省の
発表情報

労働人口減少への
対策

日本の生産性に
ついて

影響について

ビジネス環境の課題

ナレッジ管理を行う理由と課題

ナレッジ管理を促進する方法

ナレッジ管理の未来

ナレッジ管理ツール『ONES Wiki』

『ONES Wiki』の生成AI機能

利用するには

生成AIによるナレッジ管理の実現
について

情報管理とナレッジ管理の違い

ナレッジ管理の
課題

情報管理とナレッ
ジ管理の違い

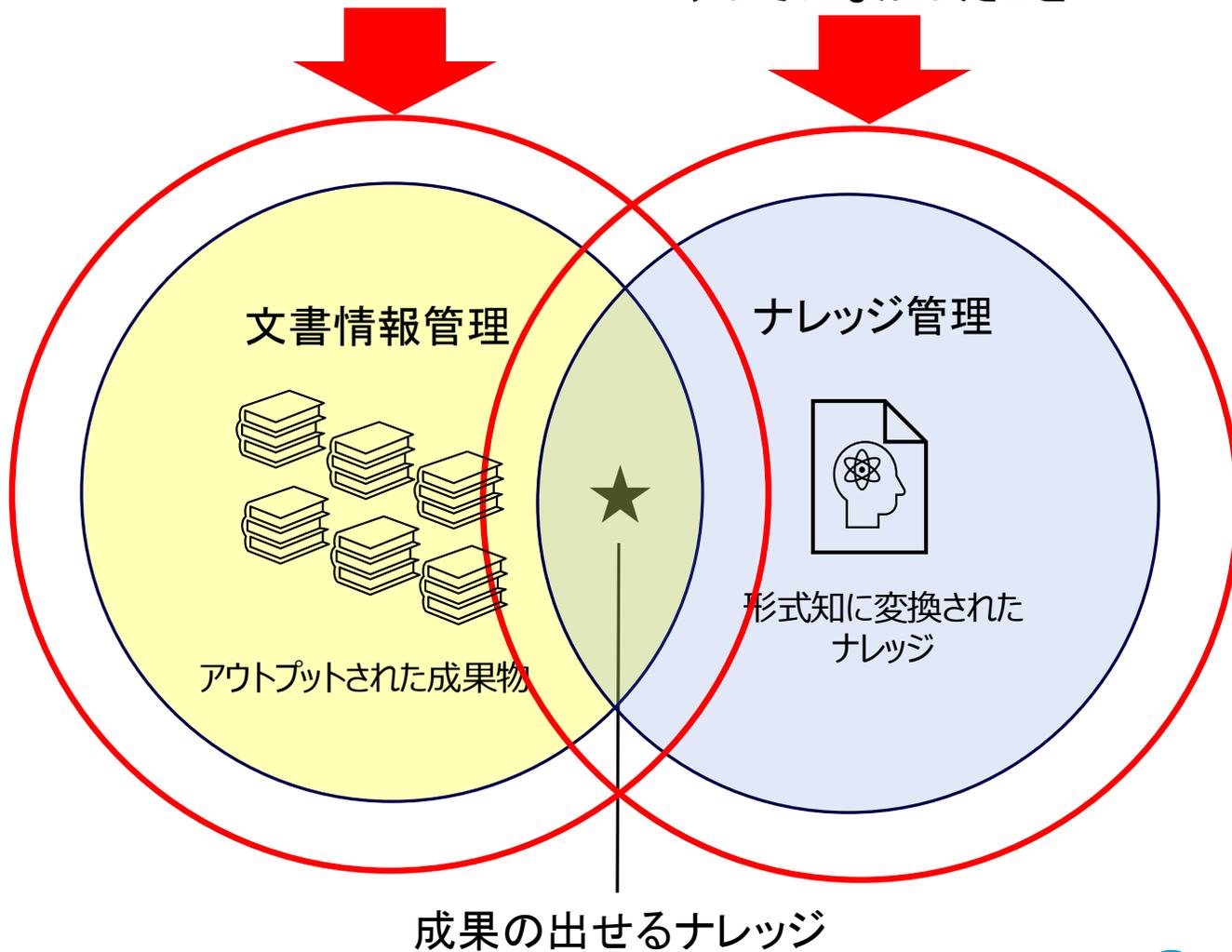
ナレッジ管理を
放置することの
リスク

ナレッジ管理の
は仕組みが必要

ナレッジ管理の
実践サイクル

いままで
実践してきたこと

やっているようで
やっていなかったこと



情報管理とナレッジ管理の違い

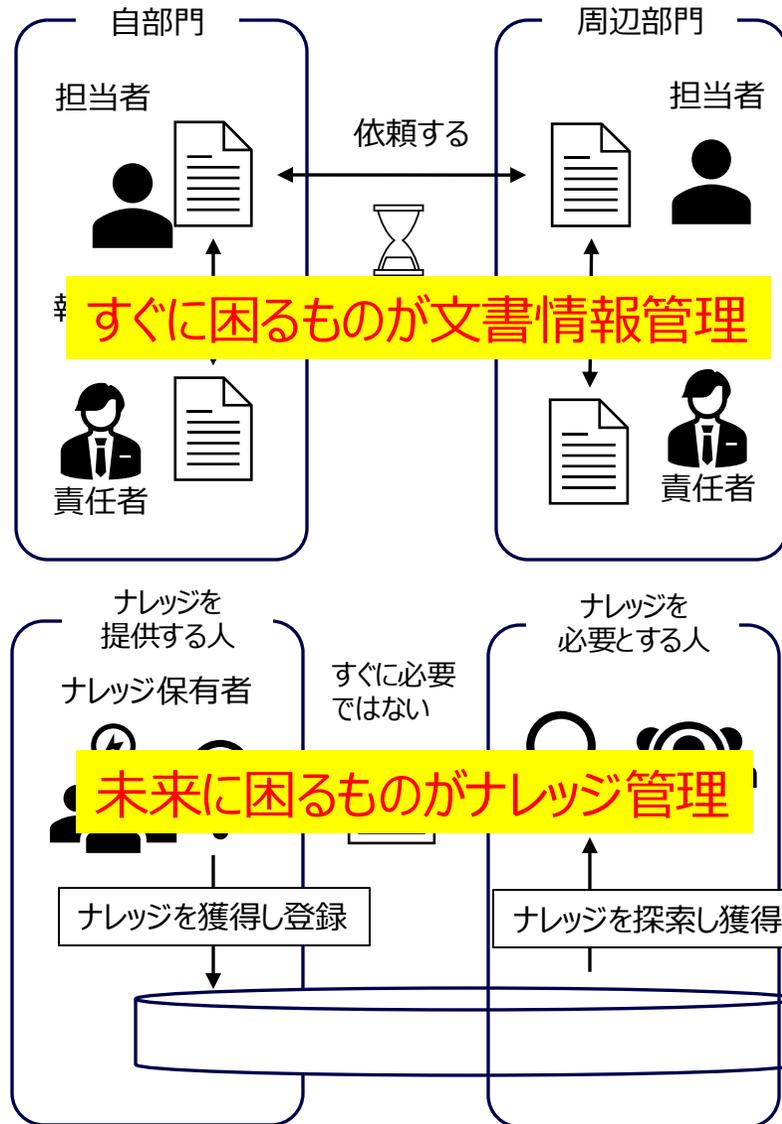
ナレッジ管理の
課題

情報管理とナレッジ管理の違い

ナレッジ管理を
放置することの
リスク

ナレッジ管理の
は仕組みが必要

ナレッジ管理の
実践サイクル



文書は、業務プロセスを円滑に進めるものであり、伝えたい相手が明確な情報伝達手段である

文書は、作成しないと影響がすぐに発生するもの

ナレッジは知識ベースであり、必要ときに必要な情報を獲得できればよい。あれば助かるが、なくてもすぐには困らない

ナレッジは、作成しなくても影響がすぐに発生しないもの

放置することで発生するリスク

ナレッジ管理の
課題

情報管理とナレッ
ジ管理の違い

ナレッジ管理を
放置することの
リスク

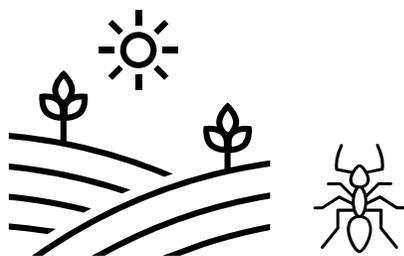
ナレッジ管理の
は仕組みが必要

ナレッジ管理の
実践サイクル

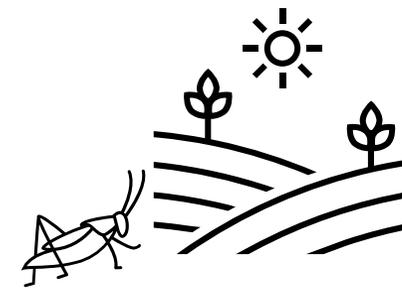


情報収集や変化を察知し、未
来を予測し、準備や投資、将
来への備えを行う
挑戦などによる経験値などを高
める

本業が忙しい
とくに困っていない
自分たちの役割やミッションではない
誰かがやること



被害を最小限に！早い回復ができる



被害が甚大に！回復にも時間がかかる

放置することで発生するリスク

ナレッジ管理の
課題

情報管理とナレッ
ジ管理の違い

ナレッジ管理を
放置することの
リスク

ナレッジ管理の
は仕組みが必要

ナレッジ管理の
実践サイクル

知識の継承と維持 できなくなる	労働人口が減少する中で、特に ベテラン社員が退職すると、企業はそのノウハウや経験を失うリスクが高まります 。ナレッジ管理を行うことで、個々の社員が持つ暗黙知（経験やスキル）を形式知（文書やデータベース）に変換し、組織全体で共有・活用できるようにします。これにより、退職や異動による知識の喪失を防ぎます。
業務生産性の低下	労働人口が減少すると、一人ひとりの社員にかかる業務負担が増える可能性があります。ナレッジ管理を適切に行うことで、社員は必要な情報やノウハウに迅速にアクセスできるようになり、 業務効率が向上します 。これにより、 限られた人材であっても生産性を維持しやすくなります 。
イノベーションは起きない	労働力が減少する中で、 企業が競争力を維持するためには、イノベーションが不可欠 です。ナレッジ管理を通じて、異なる分野の知識やアイデアを組み合わせ、新しい製品やサービスを生み出すことができます。また、ナレッジ管理システムは、社員がアイデアを共有しやすくすることで、組織内でのイノベーションを促進します。
社員育成に ばらつきと育成遅延	労働人口が減少すると、限られた人材の中で即戦力となる人材の確保が難しくなります。ナレッジ管理を活用することで、新入社員や若手社員が必要な知識やスキルを効率的に習得でき、 短期間で即戦力として活躍 できるようになります。
リスク拡大	重要な知識やノウハウが特定の社員に依存している場合、その 社員が急に退職したり、病気で長期欠勤したりすると、企業は大きなリスクにさらされます 。ナレッジ管理を通じて知識を組織全体で共有することで、リスクを軽減し、事業の継続性を確保します。

ナレッジ管理には仕組みが必要

ナレッジ管理の
課題

情報管理とナレッ
ジ管理の違い

ナレッジ管理を
放置することの
リスク

ナレッジ管理に
は仕組みが必要

ナレッジ管理の
実践サイクル

ナレッジが共有されて **X** い = 共有しない人が悪い

情報を共有しない人

01 コミュニケーション不足な人

- ・一方通行：自分の情報は話さず、他人からの情報だけ求める。
- ・相談なし：問題が発生しても相談せず、後で大問題になる。
- ・説明不足：説明が不十分で、他人が何をすれば良いかわからない。

02 高圧的態度の人

- ・批判的：他人の意見を批判し、自分のやり方を押し付ける。
- ・否定的：他人のアイデアや提案を否定し、共有を妨げる。
- ・威圧感：威圧的な態度で他人を黙らせる。

03 高圧的

- ・命令口調：常に上から目線で指示を出す。
- ・強制：断れないような状況を作る。
- ・威圧：プレッシャーをかけて無理やりらせる。

04 自己中心的な人

- ・自分優先：自分の都合で情報を操作し、他人のことを考えない。
- ・感謝なし：他人の協力を得ても感謝せず、当然と考える。
- ・責任逃れ：問題が発生すると他人に責任を押し付ける。

05 成長する気がない人

- ・学習しない：過去の失敗から学ばず、同じミスを繰り返す。
- ・改善しない：自分の行動を改善せず、成長がない。
- ・フィードバック無視：他人からのフィードバックを無視する。

06 非協力的な人

- ・協力しない：他人の仕事を手伝わず、自分の仕事だけする。
- ・助けを求めない：問題が発生しても他人に助けを求めない。
- ・チーム無視：チームの目標や方向性を無視する。



ナレッジ管理には仕組みが必要

ナレッジ管理の
課題

ナレッジが共有されてない = 共有しない人が悪い



ほとんどはマネジメントの問題

マネジメントの問題 = マネージャーや上司が悪い



個人の責任にしても何も解決しない

ナレッジマネジメントシステムを取り入れる



情報管理とナレッ
ジ管理の違い

ナレッジ管理を
放置することの
リスク

ナレッジ管理に
は仕組みが必要

ナレッジ管理の
実践サイクル

ナレッジ管理の実践サイクル

ナレッジ管理の
課題

情報管理とナレッ
ジ管理の違い

ナレッジ管理を
放置することの
リスク

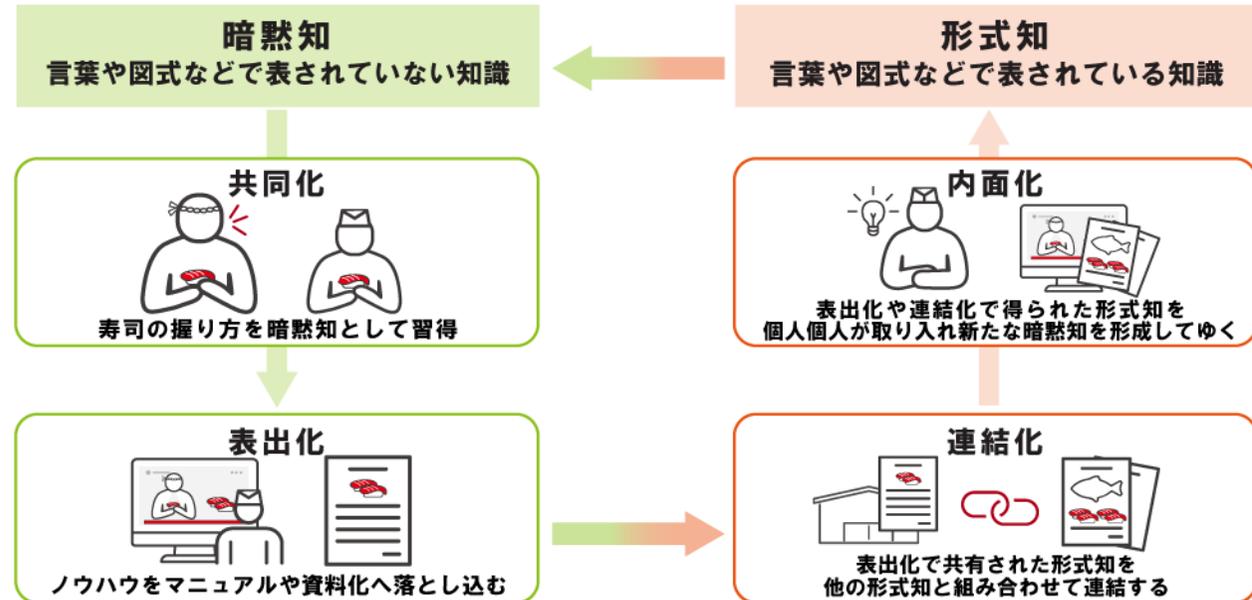
ナレッジ管理に
は仕組みが必要

ナレッジ管理の
実践サイクル

ナレッジマネジメントの実践サイクル

ナレッジマネジメントとは、個人に属しがちな知識や情報を
チームなどの組織全体で共有し、集合知として活用するマネジメントスキーム

【SECIモデルによるナレッジマネジメントの実践サイクル例】



ナレッジマネジメントを導入・実践すると、
組織のプロブレム・ソルビング（問題解決）能力やイノベーション能力が向上する

ビジネス環境の課題

ナレッジ管理を行う理由と課題

ナレッジ管理を促進する方法

ナレッジ管理の未来

ナレッジ管理ツール『ONES Wiki』

『ONES Wiki』の生成AI機能

利用するには

生成AIによるナレッジ管理の実現
について

ナレッジ管理のマネジメント

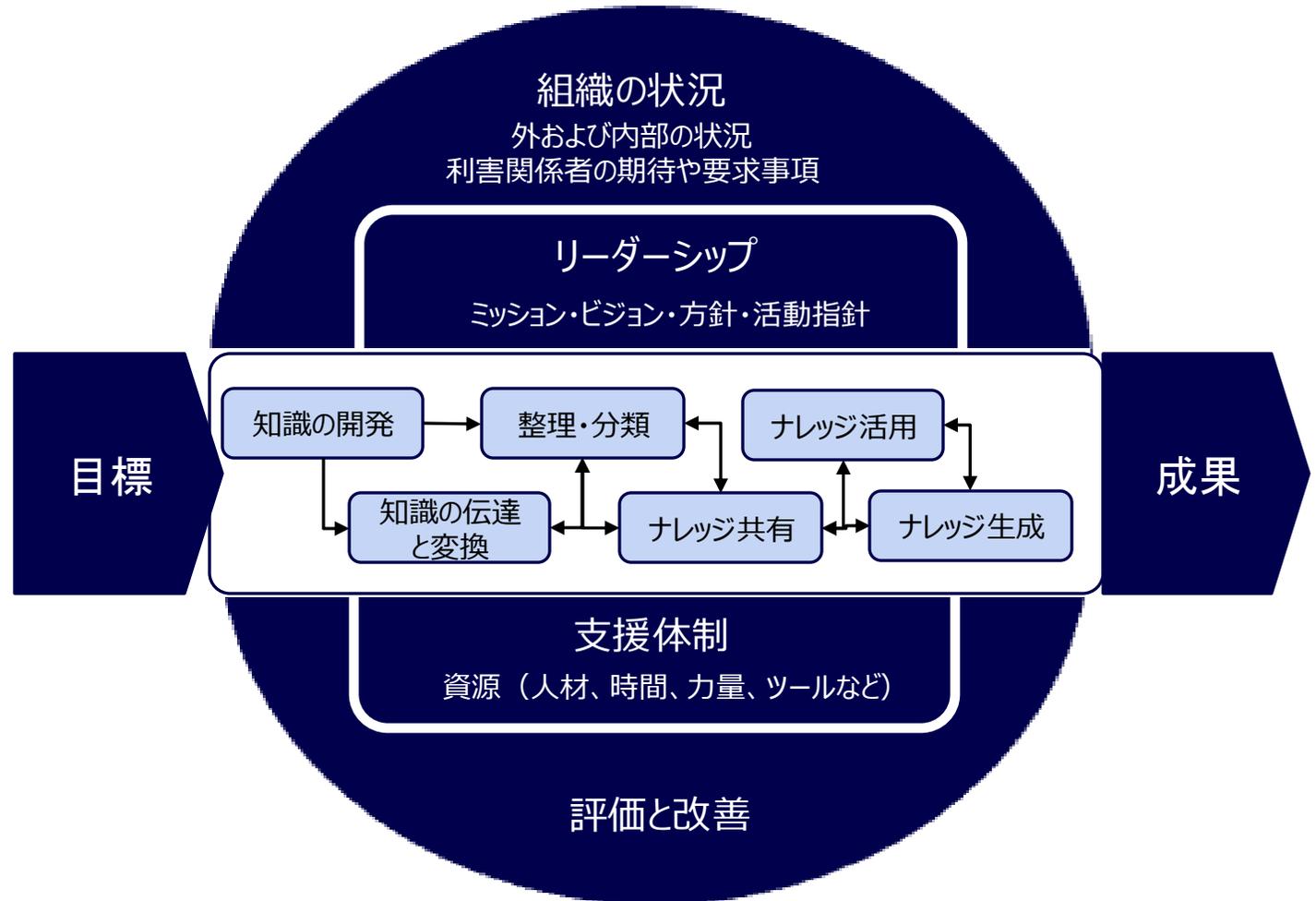
ナレッジ管理の
マネジメント

ナレッジを獲得
する

ナレッジを伝える

ナレッジを発見
されやすくする

ナレッジを活用
する



ISO30401(ナレッジマネジメントシステム)の概要図

ナレッジを獲得する：知識の開発

知識開発のテーマ、範囲について

知識の開発では、適用範囲や目的・テーマを決定することが望ましい

- ・外部および内部の状況から課題、状況
- ・特定業務や特定技術などの専門領域の課題、状況
- ・機能(販売戦略、製品開発、顧客サービス)の課題、状況
- ・利害関係者に関する課題、状況
- ・その他

ナレッジ管理の
マネジメント

ナレッジを獲得
する

ナレッジを伝え
る

ナレッジを発見
されやすくする

ナレッジを活用
する

ナレッジを獲得する：知識の開発

目的とテーマ、範囲について

知識の開発では、適用範囲や目的・テーマを決定することが望ましい

- ・外部および内部の状況から課題、状況
- ・特定業務や特定技術などの専門領域の課題、状況
- ・機能（販売戦略、製品開発、顧客サービス）別課題、状況
- ・利害関係者に関する課題、状況
- ・その他

何も決めずに、なんでもよいので
ナレッジを、どんどん登録して！
ではナレッジは登録されない

ナレッジ管理の
マネジメント

ナレッジを獲得
する

ナレッジを伝え
る

ナレッジを発見
されやすくする

ナレッジを活用
する

ナレッジを獲得する：知識の開発

目的とテーマ、範囲について

知識の開発では、適用範囲や目的・テーマを決定することが望ましい

- ・外部および内部の状況から課題、状況
- ・特定業務や特定技術などの専門領域の課題、状況
- ・機能(販売戦略、製品開発、顧客サービス)の課題、状況
- ・利害関係者に関する課題、状況
- ・その他

ナレッジの獲得方法

- ・人的相互作用
人的交流とディスカッションによる暗黙知の抽出を行う。
Nottaなどの文字起こしなどを利用する。
- ・振り返りの日常化(KPT法など)による議事録作成
失敗も成功もかならず振り返りを行うことが大切
- ・HOW TO / マニュアルなど作成して蓄積する

ナレッジ管理の
マネジメント

ナレッジを獲得
する

ナレッジを伝える

ナレッジを発見
されやすくする

ナレッジを活用
する

ナレッジを獲得する：知識の開発

目的とテーマ、範囲について

知識の開発では、適用範囲や目的・テーマを決定することが望ましい

- ・外部および内部の状況から課題、状況
- ・特定業務や特定技術などの専門領域の課題、状況
- ・機能(販売戦略、製品開発、顧客サービス)の課題、状況
- ・利害関係者に関する課題、状況
- ・その他

ナレッジの獲得方法

- ・人的相互作用
人的交流とディスカッション
Nottaなどの文字

プロジェクトや日常業務の成果物は作成されるが、ナレッジは特別な行為によって表出されることが多い。

- ・振り返りの日常化(KPT法など)による記録
失敗も成功もかならず振り返りを行うことが大切

- ・HOW TO / マニュアルなど作成して蓄積する

ナレッジ管理の
マネジメント

ナレッジを獲得
する

ナレッジを伝える

ナレッジを発見
されやすくする

ナレッジを活用
する

伝わりやすくする：知識の伝達と変換

知識の伝達と変換

暗黙知を発見したら、言語化などによって形式知として表出化させる必要があります。表出化を支援するための機能と力量を以下に記載します。

情報・ナレッジの粒度と品質を確保

- テンプレートを利用
- 生成AIによる文章生成・校正など
- 承認ワークフローによるチェック

言語化と文章力を鍛える



直感言語化トレーニング ～非認知スキルを高め、論理と感性の両利きを目指す！

<https://www.recruit-ms.co.jp/open-course/dtl/S00213/>

ナレッジ管理の
マネジメント

ナレッジを獲得
する

ナレッジを伝える

ナレッジを発見
されやすくする

ナレッジを活用
する

発見されやすくする：整理と分類

整理と分類

ナレッジ情報を最速で見つけ出すには整理と分類による構造化が重要です。

属性・カテゴリ・タグなど

属性名称	概要
個人・部門・組織の属性	ナレッジの主管元を付与
ドメイン属性	特定の分野や専門領域に関連する属性
機能・プロセス属性	組織内の特定の機能やプロセスに関連する属性
情報分類属性	情報管理、ナレッジ管理の属性付与
目的属性	問題解決、報告方法、イノベーション、情報収集など
業務(公用)、非業務属性(私用)	業務に関する情報か、業務以外の情報か
利害関係者属性	取引先、顧客、株主などの属性

情報の粒度と品質

- テンプレートを利用
- 生成AIによる文章生成・校正など
- 承認ワークフローによるチェック

ナレッジ管理の
マネジメント

ナレッジを獲得
する

ナレッジを伝え
る

ナレッジを発見
されやすくする

ナレッジを活用
する

ナレッジ管理を共有・活用する：共有と活用

ナレッジ共有

ナレッジ活用

ナレッジ管理の
マネジメント

ナレッジを獲得
する

ナレッジを伝える

ナレッジを発見
されやすくする

ナレッジを活用
する

ナレッジ管理タイプ	用途	方法
ベストプラクティス共有型	個人または組織が、これまでの経験を通じて、蓄積した方法論を形式知にして共有する	マニュアル ホワイトペーパー ガイダンスペーパー
経験・体験共有型	経験や体験したことを形式知として共有する。 成功や失敗、振り返りなど、さまざまな情報を共有する	ブログ Wiki
FAQ公開型	よくある質問などをまとめて、形式知として公開する	FAQ
人力検索 / ヘルプデスク型	困っている人、知りたい人が質問し、誰かが返答するやりとり自体がナレッジとして蓄積され共有できる	人力検索 サービスデスク

緑色の部分は、企業として取り組みやすい / 青色の部分は、ほとんどの企業ができていない

タイプ	用途	方法
ナレッジ生成型	文書化された情報（形式知）を参照し、生成AIがナレッジをガイダンスしてくれる	生成AIとの連携

重要なのは、良質な形式知がないと生成AIによるハルシネーション発生率が高くなる
嘘つき（ハルシネーション）を軽減させること、ハルシネーションはゼロにはできないため利用ルールをつくること

生成AIは、あくまでもサブシステムと捉えてください。

ビジネス環境の課題

ナレッジ管理を行う理由と課題

ナレッジ管理を促進する方法

ナレッジ管理の未来

ナレッジ管理ツール『ONES Wiki』

『ONES Wiki』の生成AI機能

利用するには

生成AIによるナレッジ管理の実現
について

ナレッジ管理の未来

デジタル
クローン



[alt BRAIN | welcome into the world of BRAINs](#)

人的情報を生成AIが学習することで、その人物のクローンとして活動することができる。
すでに実用段階に入りつつあり、β版ではあるが「メール返信しておいて」「資料を作成して」などの仕事の依頼に応えて業務を行うレベルに到達している。

知識・ナレッジ、価値観、やり方などを再現し、優秀な人材をAI的リソースとして活用可能となる。

ナレッジ管理の未来

デジタル
クローン



食材（情報・ナレッジ）の獲得



食材（情報・ナレッジ）を調理



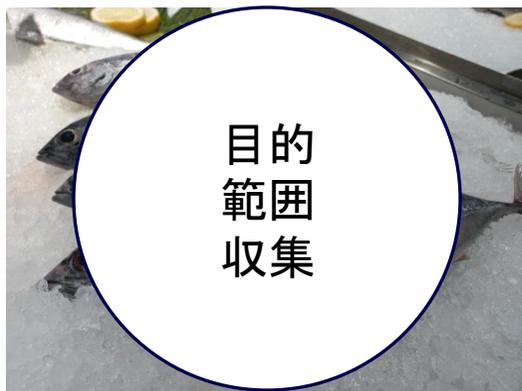
優秀な生成AIとして育つ



料理を（情報・ナレッジ）を食べる
AIであればファインチューニング
人であれば蓄積・経験・体験

ナレッジ管理の未来

デジタル
クローン



食材（情報・ナレッジ）の獲得



食材（情報・ナレッジ）を調理



優秀な生成AIとして育つ



料理を（情報・ナレッジ）を食べる
AIであればファインチューニング
人であれば蓄積・経験・体験

ナレッジ管理の未来

デジタル
クローン

目的
録

表出化
属性
量

食材

を調理

カ
ーン
之糸

換
ニン
グ

優秀な生成AIとして育つ

料理を（情報・ナレッジ）を食べる
AIであればファインチューニング
人であれば蓄積・経験・体験

生成AIを使うなら
良質な情報
（美味しいご飯）
を与えましょう

ビジネス環境の課題

ナレッジ管理を行う理由と課題

ナレッジ管理を促進する方法

ナレッジ管理の未来

ナレッジ管理ツール『ONES Wiki』

『ONES Wiki』の生成AI機能

利用するには

生成AIによるナレッジ管理の実現
について

登録・変更・削除

- ・ 文書の作成
- ・ 表計算の作成
- ・ ファイルのインポート

発見・把握する

変化を察知・通知する

品質と粒度を整える

情報のトラッキング

プロセスと統合する

ナレッジ管理ツール『ONES Wiki』とは

イノベーションを加速させる先進的なナレッジ&コラボレーション管理ツール

ONES Wiki (ワンズウィキ) は、通常のナレッジ管理機能に加え、生成AI : Copilotを追加できる。先進的なナレッジ管理ツールです。情報、ナレッジ (知識・経験) を蓄積し、すばやい発見・気づきによって組織の生産性を劇的に向上させることができます。



スペースの階層構造とダッシュボード

テンプレートによる質と量を確保

Microsoft Wordのような操作性

情報を共有する

作図機能による優れた表現

知的創造を促進させる機能



ER図やシステム構成図など



フローチャート / UML など



ONES Wikiについて

登録・変更・削除

- ・文書の作成
- ・表計算の作成
- ・ファイルのインポート

発見・把握する

変化を察知・通知する

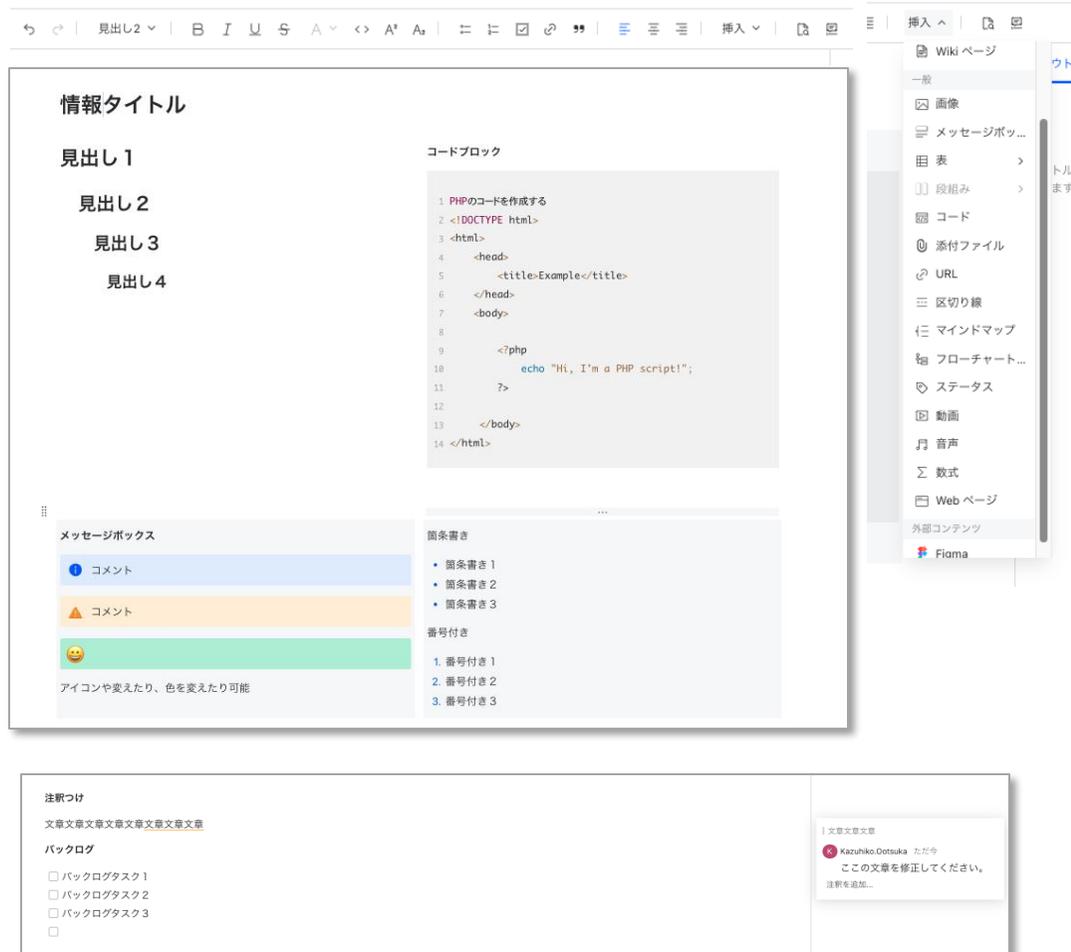
品質と粒度を整える

情報のトラッキング

プロセスと統合する

登録・変更・削除

ONES Wikiは、Microsoft Wordのように簡単に情報ページを作成できます。必要な情報を正確に伝える表現力にも優れています。



Wordのように簡単に

優れた表現力で伝える

同時編集による共同作業・コラボレーション

生成AIによる文書作成も可能



アノテーション（注釈）機能で共同作業ができます。

ONES Wikiについて

登録・変更・削除

- ・文書の作成
- ・表計算の作成
- ・ファイルのインポート

発見・把握する

変化を察知・通知する

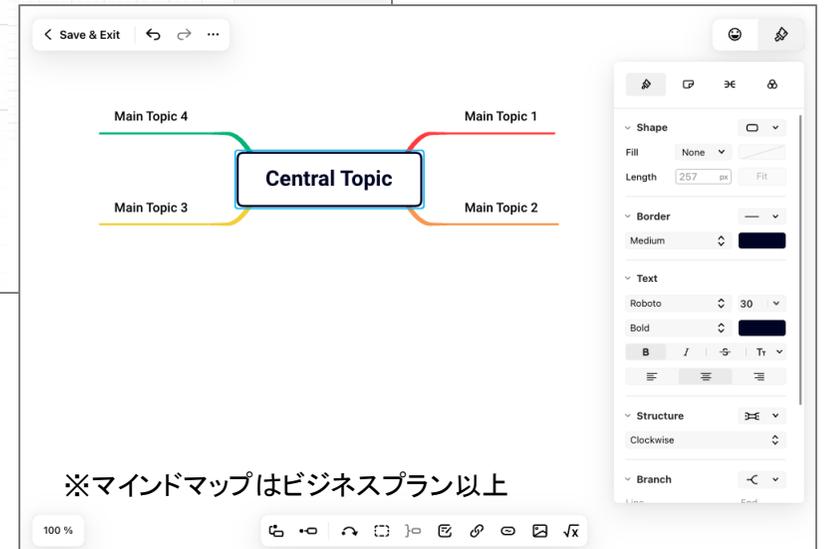
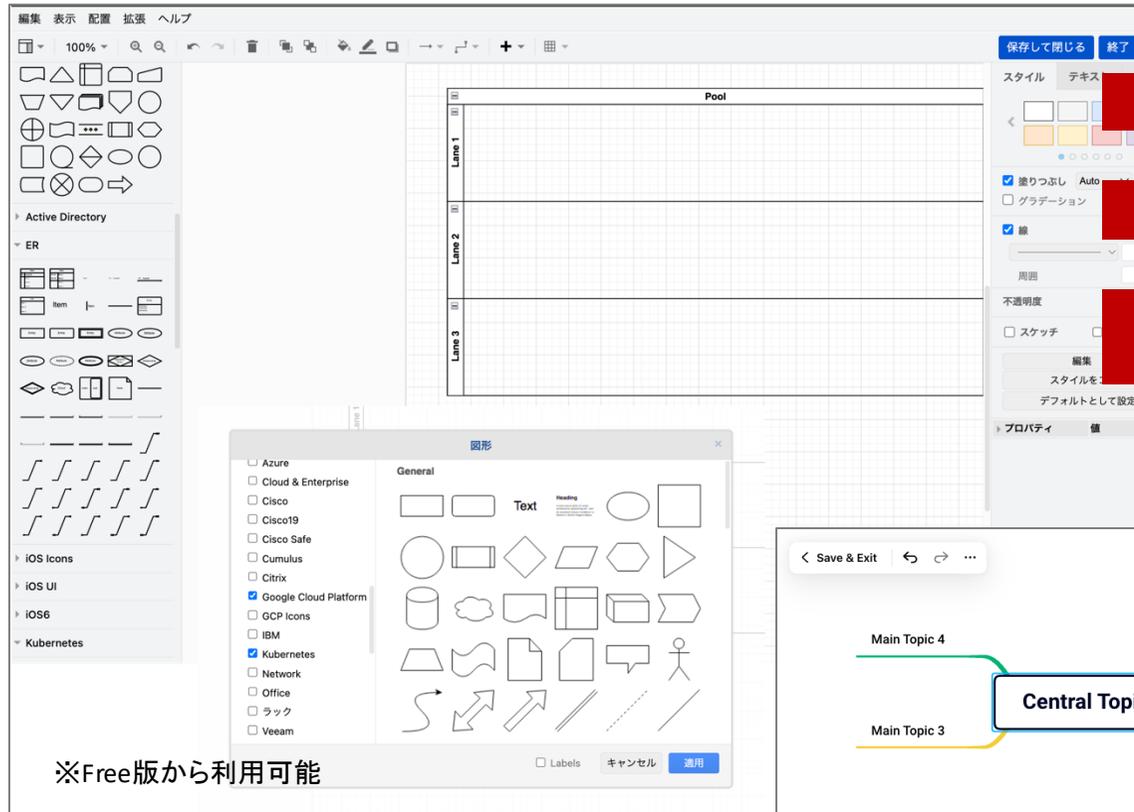
品質と粒度を整える

情報のトラッキング

プロセスと統合する

登録・変更・削除

ONES Wikiには、標準機能でMicrosoft Visioのような作図機能、マインドマップ作成機能など、本来であれば専用ソフトの購入が必要な機能が標準提供されています。



ONES Wikiについて

登録・変更・削除

- ・文書の作成
- ・表計算の作成
- ・ファイルのインポート

発見・把握する

変化を察知・通知する

品質と粒度を整える

情報のトラッキング

プロセスと統合する

登録・変更・削除

ONES Wikiには、Microsoft Excelのような表計算機能が標準提供されています。関数やグラフ、複数シートの作成、フィルタ機能や入力規則など表計算ソフトとして十分すぎる機能が提供されています。

Excelのような表計算

多彩な関数が利用可能

フィルタ機能が抽出

グラフ化なども可能

テンプレート化も可能

番号	製品名	単価	数量	合計
1	製品A	500	2	C2*D2
3	製品B	1000	3	¥3,000

ONES Wikiについて

登録・変更・削除

- ・ 文書の作成
- ・ 表計算の作成
- ・ **ファイルのインポート**

発見・把握する

変化を察知・通知する

品質と粒度を整える

情報のトラッキング

プロセスと統合する

登録・変更・削除

ONES Wikiでは、Microsoft Wordファイル、またはConfluenceからのデータインポートが可能です。

ナレッジベース管理 | ホームページ

機能確認用 | サンプ... +

ページタイトルを検索

Wiki コラボページ

スプレッドシート

2023年07月31日 14時14分に編集しました

Wiki コラボページとしてインポート > .doc/.docx をインポート

Confluence をインポート

ページを編集するには

ホームページで、プロジェクトの目標や後続の計画などについて説明

株式会社〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 (以下「甲」という) と (以下「乙」という) は、甲乙間における発注もしくは発注のため情報開示するソフトウェア開発関連業務 (以下「本業務」という) に関わる機密保持の取扱いに関し、以下の通り契約 (以下「本契約」という) を締結する。

ファイル名：【ひな形】機密保持契約書.docx

【ひな形】機密保持契約書

大塚 和彦 2024年04月10日 08時02分に編集しました

機密保持契約書

株式会社〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 (以下「甲」という) と (以下「乙」という) は、甲乙間における発注もしくは発注のため情報開示するソフトウェア開発関連業務 (以下「本業務」という) に関わる機密保持の取扱いに関し、以下の通り契約 (以下「本契約」という) を締結する。

1. (開示者、被開示者の定義)

本契約において「開示者」とは、開示者及び被開示者のうち、相手方に情報を開示・提供し、または開示・提供する立場にあるものをいい、「被開示者」とは開示者及び被開示者のうち、相手方より情報の開示・提供を受け、または受ける立場にあるものをいう。

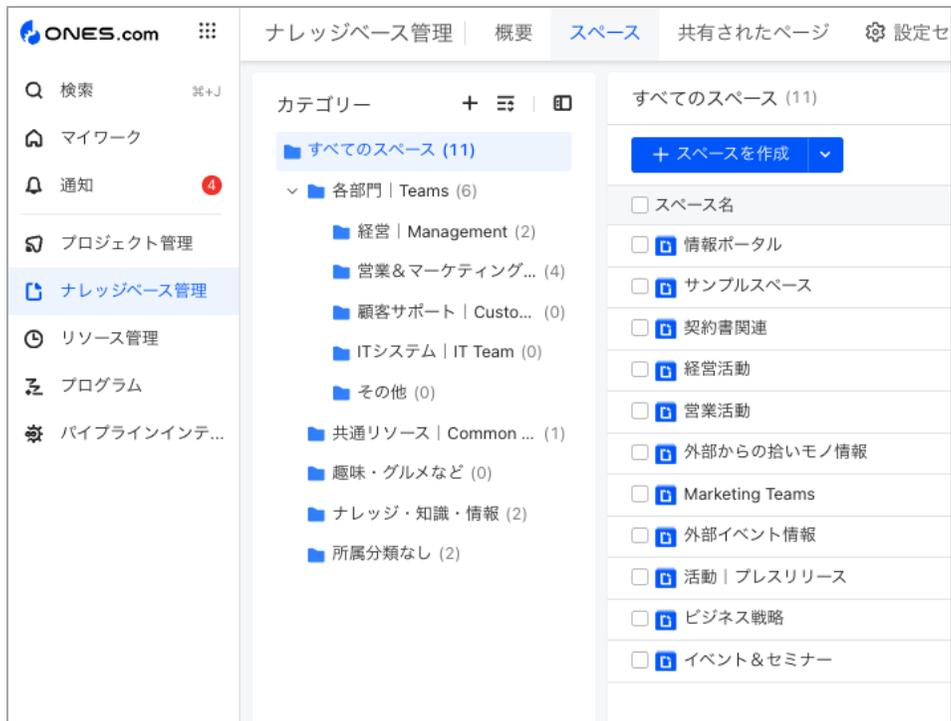
- ・文書の作成
- ・表計算の作成
- ・ファイルのインポート

発見・把握する

情報やナレッジを素早く発見するには、情報の構造化と優れた検索機能が必要不可欠です。

情報の構造化と階層表示

スペースの構造化による階層表示



ページの構造化による階層表示



視覚的に整理された情報として視認性に優れ、
必要な情報へ到達することを容易にします。

ONES Wikiについて

登録・変更・削除

- ・文書の作成
- ・表計算の作成
- ・ファイルのインポート

発見・把握する

変化を察知・通知する

品質と粒度を整える

情報のトラッキング

プロセスと統合する

発見・把握する

3つの共通機能の「検索」によって、すばやく情報に到達する



3つの共通機能で生産性を大幅に向上

ONES製品の3つの共通機能が生産性を劇的に向上させます。組織の生産性を向上させるには共通言語、共通機能、共通インターフェースなど複数部門を横断した共通プラットフォームが重要な要素となります。

ONES製品は、組織横断したナレッジ管理を実現するために3つの共通機能を提供します。

検索結果は視点を変えて表示



検索キーワードからページ、スペース、添付ファイル（ファイル内部も含む）を3つの視点で全文検索します。※すべての検索結果を1つのビューで表示するのは生産性が上がらない場合があります。

条件による絞り込みも可能です。

全文検索できるだけでなく、検索結果をわかりやすく表示する工夫がされています。

ONES Wikiについて

登録・変更・削除

- ・文書の作成
- ・表計算の作成
- ・ファイルのインポート

発見・把握する

変化を察知・通知する

品質と粒度を整える

情報のトラッキング

プロセスと統合する

発見・把握する（生成AI検索）

The screenshot shows the Copilot interface with a search query 'ONESのインストール方法は？'. The results are a list of steps for installing ONES, each with a corresponding terminal command. The entire content area is highlighted with a red border. Below the results, there are links to related documents and a list of suggested follow-up questions.

Copilot に聞く

ONESのインストール方法は？

Copilot が回答を生成しました。

ONESのインストール方法は以下の通りです：

- ONESのホームディレクトリに移動します。

```
cd ${ONES_DATA_DIR}
```
- ONESシステムのデータストレージディレクトリに移動します。デフォルトでは `/data/ones` になりますが、Chapter 2 Section 2.1でカスタマイズされている場合もあります。

```
cd ones-installer-pkg
```
- アンインストールスクリプトを実行します。

```
./all-uninstall.sh
```
- 新しいバージョンをインストールします。以下の例では、バージョン `v6.0.37` をインストールします。

```
PKG_URL_PREFIX=https://packages.ones.com
ONES_VERSION=v6.0.37
curl ${PKG_URL_PREFIX}/release/${ONES_VERSION}/install_linux_amd64.sh | bash -
```
- オフラインでインストールする場合は、以下のコマンドを実行します。

```
mkdir -p /root/pkg/ones-k3s && cd /root/pkg/ones-k3s
curl ${PKG_URL_PREFIX}/release/${ONES_VERSION}/build_offline_pkg_linux_amd64.sh | bash -
```
- ライセンスファイルをアップロードします。ライセンスファイルは `ones@systemcon.co.jp` から取得できます。
以上の手順でONESのインストールが完了します。

回答は次の Wiki ページに基づいて生成されています。ご参考までに。

ONES製品オンプレミス版の最新インストール | 会議議事録

2024-05-14 今日のゴール | オンプレ環境申請の情報収集.docx | その他の 5 件の結果をすべて表示

② ONESのアンインストール方法は？ですか？

② ONESのオフラインインストールとオンラインインストールの違いは？ですか？



生成AI検索とは、生成AI『Copilot』を活用した画期的なナレッジ検索機能です。

外部に情報を参照せず、お客様が契約したONES Wiki内の情報から『Copilot』が回答を返します。

また、回答の情報元となった参考データも表示されるため、ユーザーが知りたいこと、やりたいことを入力するだけで適切な情報を確認することが可能です。

お客様のONES Wiki内の情報をもとに生成AIが回答します。

回答結果を評価します。

回答の元データを表示します。

さらに深掘りする質問を提案します。

ONES Wikiについて

登録・変更・削除

- ・文書の作成
- ・表計算の作成
- ・ファイルのインポート

発見・把握する

変化を察知・通知する

品質と粒度を整える

情報のトラッキング

プロセスと統合する

変化を察知・通知する

ウォッチしているページに変更があったり、@マークでメンションされた場合、関連メンバーは通知メッセージを受け取ります。
通知方法を選択した後、ページの編集、コメント、削除、復元時には、ページのフォロワーに通知メッセージが送信されます。
@メンバーの場合には、@された人にも通知メッセージが送信されます。



情報・ナレッジへの注釈やコメント、メンションによるコミュニケーション

ウォッチ機能で、自分やチームに関連した情報の変化を通知で受け取る

さまざまな通知方法が可能です。

- 通知方法
- ・ ONES製品へ通知 ※左図参照
 - ・ デスクトップ通知
 - ・ メールで通知
 - ・ Slack / Teamsへ通知

情報の変化に気づくことで最新情報を知ることができます。
情報を届ける・伝えることにも利用できます。

ONES Wikiについて

登録・変更・削除

- ・ 文書の作成
- ・ 表計算の作成
- ・ ファイルのインポート

発見・把握する

変化を察知・通知する

品質と粒度を整える

情報のトラッキング

プロセスと統合する

情報の品質と粒度を整える（テンプレート機能）

人によって、情報の質や量が異なると情報管理としてもナレッジ管理としても効果が低くなってしまいます。ONES Wikiでは、豊富なテンプレート機能によって情報の品質と粒度を整えることができます。



豊富な標準テンプレート提供

独自のテンプレート作成可能
※Wordファイルをインポートも可能

テンプレートの利用範囲も制限

- ・ スペースのテンプレート
- ・ 全体のテンプレート

情報の質と量は、情報管理、ナレッジ管理において活用の可否を左右する重要な要素です。テンプレート機能は必須機能だと考えてください。

情報のトラッキング（変更履歴）

情報管理、ナレッジ管理としてだけでなく、ISO（国際標準化機構）においても、変更履歴管理は必須機能となります。ONES Wikiは、過去の変更履歴だけでなく、バージョン同士を比較し、追加・変更・削除された部分を明確にします。マウスオーバーすると誰が追加、変更、削除したのかが表示され、履歴にコメントを残すこともできるため、ISO（国際標準化機構）への要求にも対応することができます。

ONES Wikiについて

登録・変更・削除

- ・文書の作成
- ・表計算の作成
- ・ファイルのインポート

発見・把握する

変化を察知・通知する

品質と粒度を整える

情報のトラッキング

プロセスと統合する

ページ履歴 ログアウト

現在のバージョン： 2024-01-29 12:57 最新 と 2023-07-14 09:00 を比較する

新製品エコワイズ XXXX501α(EcoWise)：企画書

関係者が要件を理解し、よりスムーズに開発、マーケティングを行えるよう、製品の機能や特徴を記入します。

- ▼ **H コンセプトA**
 - 高効率と省エネルギー：エコワイズは、プラントの冷却システムにおいて高い効率と省エネルギー性を実現します。最新の技術と革新的な設計により、冷却プロセスでのエネルギー損失を最小限に抑え、エネルギー効率を最大化します。
 - 高信頼性と耐久性：エコワイズは、長期間にわたって安定した動作を維持するために、高い信頼性と耐久性を備えています。厳しい環境条件下でも優れたパフォーマンスを発揮し、プラントの運用の安定性を確保します。
 - 柔軟性と適応性：エコワイズは、様々なプラントの冷却ニーズに柔軟に対応します。異なる規模や用途に応じて調整可能な設計や、多様な制御オプションを提供することで、顧客のニーズに最適な冷却ソリューションを実現します。
 - 高度な制御とモニタリング：エコワイズは、高度な制御機能とリアルタイムのモニタリング機能を備えています。自動制御システムやデータ解析により、最適な冷却効果を維持し、運用効率を最大化します。
 - 環境に配慮した設計：エコワイズは、環境への配慮を重視した設計を採用しています。環境負荷を最小限に抑えるための低騒音、低振動設計や、環境にやさしい冷媒の使用など、持続可能な冷却ソリューションを提供します。

このようなコンセプトに基づいて、エコワイズはプラント用冷却コンプレッサーとして市場において優れたパフォーマンスと環境負荷の軽減を提供することを強調します。

- kkkk
- llll
- mmmm

変更履歴を参照・表示・復元

変更履歴を比較、差分表示

変更履歴にコメント付与

情報・ナレッジの変更履歴管理は、国際的にも必須要件
 となっています。
 ONES Wikiであれば要件を満たすことができます。

ONES Wikiについて

登録・変更・削除

- ・文書の作成
- ・表計算の作成
- ・ファイルのインポート

発見・把握する

変化を察知・通知する

品質と粒度を整える

情報のトラッキング

プロセスと統合する

プロセスと情報を統合したナレッジ管理

情報管理をナレッジ管理に変えるためには、5W1Hの要素を付与することが重要な要素です。最近のワークスタイルでは、タスク管理、プロジェクト管理などの工程（5W1H）と情報を紐付けすることでナレッジとして活用しやすくなると言われています。この情報が、どのような時に使われたのか？それが把握できる、できないでは大きな差になります。

The screenshot displays the ONES Wiki interface. On the left, a project plan titled 'プロジェクト計画' (Project Plan) is visible, listing various tasks such as '販売・流通ネットワー...' (Sales/Distribution Networking), 'マーケティング戦略の...' (Marketing Strategy), and '製造プロセスの設計' (Manufacturing Process Design). The main area shows a Gantt chart for the month of December 2023. A callout box on the right shows a document titled 'パフォーマンス評価' (Performance Evaluation), which includes a section for '9 パフォーマンス評価' (9 Performance Evaluation) and a sub-section '9.1.1 概論' (9.1.1 Overview). An arrow points from the '製造プロセスの設計' task in the project plan to the '9.1.1 概論' section in the document, illustrating the integration of task information into the knowledge base.

- ・ タスクの中間成果物
- ・ 契約で約束された最終成果物
- ・ 進行中のメモや議事録など

ONES Wikiは、タスク管理、プロジェクト管理『ONES Project』を完全統合が可能です。業務プロジェクトや営業活動などの業務において5W1Hで発生した情報を紐付けすることが可能になります。

※この機能にはONES Projectが必要です。

ビジネス環境の課題

ナレッジ管理を行う理由と課題

ナレッジ管理を促進する方法

ナレッジ管理の未来

ナレッジ管理ツール『ONES Wiki』

『ONES Wiki』の生成AI機能

利用するには

生成AIによるナレッジ管理の実現
について

良質な情報・ナレッジを作成

生成AIの精度を高めるためには、粒度や品質を整えた情報であることが大切です。ONES Wikiでは、そのための機能を提供しています。

テンプレートを活用する

※文書ページ作成の場合

標準提供のテンプレート、個別登録のテンプレートを使ってページ作成ができます。

ONES Wiki
Copilot機能

良質な情報・ナレッジを作成

属性・カテゴリ

情報・ナレッジの発見

良質な情報・ナレッジを作成

ONES Wiki
Copilot機能

テンプレートを活用する

※表計算ページ作成の場合

標準提供のテンプレート、個別登録のテンプレートを使ってページ作成ができます。

無題のスパッドシート

編集 挿入 書式 データ 表示

10 A

元に戻す やり直し 書式を貼り付け 書式をクリア B I U S 田

A1

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

テンプレートを選択

1 A B C

2

3

4

5

6

7

プロジェクト工数見...

無題のスパッドシート

編集 挿入 書式 データ 表示

10 A

元に戻す やり直し 書式を貼り付け 書式をクリア B I U S 田

A1

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

※項目（工程）の概要説明を記載してください。

番号	フェーズ	番号	項目（工程）	概要	想定成果物	工数（人日）	工数単価（人日）
1		1.1					
		1.2					
		1.3					
		1.4					
		1.5					
		1.6					
		1.7					
		1.8					
		1.9					

良質な情報・ナレッジを作成

属性・カテゴリ

情報・ナレッジの発見

良質な情報・ナレッジを作成

ONES Wiki
Copilot機能

良質な情報・ナレッジを作成

属性・カテゴリ

情報・ナレッジの発見

生成AIのテンプレートを活用する

生成AIが文書の原案を作成します。

○ プロジェクト立ち上げ文書を書いてください。| 生成する

ナレッジベース管理 保存済み  ↓

タイトルを入力してください

○ Copilot が文章を生成しました。

プロジェクト立ち上げ文書

プロジェクト概要

本プロジェクトは、組織のデジタルトランスフォーメーションを推進し、業務効率化と顧客満足度の向上を目的としています。最新の技術と革新的なアプローチを駆使し、持続可能な成長を目指します。

目的

1. 業務効率化: デジタルツールを導入し、手動プロセスを自動化します。
2. 顧客満足度向上: 顧客のニーズに迅速かつ的確に応えるシステムを構築します。
3. コスト削減: 効率的な運営を通じて、運用コストを削減します。
4. データ活用: データ分析を通じて、意思決定の質を向上させます。

挿入

Copilot の生成コンテンツはあくまでご参考までに。 👍 🔄

良質な情報・ナレッジを作成

ONES Wiki
Copilot機能

生成AIの文章チェック

生成AIが作成した文書ページを改善、校正などを行います。

良質な情報・ナレッジを作成

属性・カテゴリ

情報・ナレッジの発見

The screenshot displays the ONES Wiki Copilot interface for reviewing and editing AI-generated content. The main content area shows a document titled "AIの革新と自然法則" (AI Innovation and Natural Laws). The text discusses how AI follows natural laws to solve practical problems. A prompt asks for improvement suggestions, and a "生成する" (Generate) button is visible.

On the left, a sidebar offers various editing actions: 改善 (Improve), 校正 (Proofread), 長くする (Lengthen), 短くする (Shorten), 選択した文章に基づいて生成する (Generate based on selected text), 要約 (Summarize), ToDo リスト作成 (Create To-do list), 翻訳 (Translate), 続きを書く (Continue writing), and 文章を生成する (Generate text).

A detailed view of the "校正" (Proofread) action shows a notification: "Copilot が文章の誤字・脱字・文法ミスを修正しました。" (Copilot has corrected typos, missing characters, and grammar mistakes in the text). Below this, the revised text is shown, and buttons for "挿入" (Insert) and "置換" (Replace) are provided.

良質な情報・ナレッジを作成

ONES Wiki
Copilot機能

良質な情報・ナレッジを作成

属性・カテゴリ

情報・ナレッジの発見

元の文章

人工知能（AI）は、自然法則に沿って進化・発展し、実用的な問題を解決するためのものです。あああ、この技術は、データを解析しパターンを識別することで、私たちの生活に革新をもたらし、持続可能なソリューションを提供します。AIが生み出す解決策は、自然法則と同様に、私たちの日常生活に密接に関連しており、それぞれの進歩が新たな課題を克服し、さらなるイノベーションを促進します。自動化と個別化を通じて、AIは私たちの生活を豊かにし、効率を高める一方で、社会全体に意義ある変化をもたらす力を持っています。

生成AIの実行結果

文章の改善と校正

改善	校正
<p>人工知能（AI）は、自然法則に沿って進化・発展し、実用的な問題を解決するためのものです。この技術は、データを解析しパターンを識別することで、私たちの生活に革新をもたらし、持続可能なソリューションを提供します。AIが生み出す解決策は、自然法則と同様に、私たちの日常生活に密接に関連しており、それぞれの進歩が新たな課題を克服し、さらなるイノベーションを促進します。自動化と個別化を通じて、AIは私たちの生活を豊かにし、効率を高める一方で、社会全体に意義ある変化をもたらす力を持っています。</p>	<p>人工知能（AI）は、自然法則に沿って進化・発展し、実用的な問題を解決するためのものです。この技術は、データを解析しパターンを識別することで、私たちの生活に革新をもたらし、持続可能なソリューションを提供します。AIが生み出す解決策は、自然法則と同様に、私たちの日常生活に密接に関連しており、それぞれの進歩が新たな課題を克服し、さらなるイノベーションを促進します。自動化と個別化を通じて、AIは私たちの生活を豊かにし、効率を高める一方で、社会全体に意義ある変化をもたらす力を持っています。</p>

良質な情報・ナレッジを作成

ONES Wiki
Copilot機能

良質な情報・ナレッジを作成

属性・カテゴリ

情報・ナレッジの発見

文章量の調整

長くする

人工知能(AI)は、自然法則に沿って進化・発展し、実用的な問題を解決するためのものです。AI技術は、膨大なデータを解析し、そこからパターンを識別する能力を持っています。この解析能力により、AIは私たちの生活に様々な革新をもたらし、持続可能なソリューションを提供します。

例えば、医療分野では、AIが診断の精度を高めたり、新しい治療法を発見する手助けをしたりしています。具体的には、画像認識技術を用いて早期のがんを検出するシステムや、患者の電子カルテを分析して最適な治療法を提案するシステムなどがあります。また、環境保護の分野では、気候予測モデルの精度を向上させることで、自然災害の予測や対策を強化することができます。

AIが生み出す解決策は、自然法則と同様に、私たちの日常生活に密接に関連しています。例えば、スマートホーム技術は、AIを利用してエネルギー効率を最適化し、家電製品の自動化を実現しています。これにより、電力消費の削減や生活の利便性が向上し、持続可能な生活が実現されます。

さらに、AIの進歩は新たな課題を克服し、さらなるイノベーションを促進します。自動運転技術はその一例で、交通事故の減少や交通渋滞の緩和が期待されています。AIは交通データをリアルタイムで解析し、最適なルートを提案することで、ドライバーの負担を軽減し、安全性を高めます。自動化と個別化を通じて、AIは私たちの生活を豊かにし、効率を高める一方で、社会全体に意義ある変化をもたらす力を持っています。教育分野では、AIが個々の学習者に合わせた個別指導を提供することで、学習効果を向上させることができます。また、ビジネス分野では、AIが市場動向を予測し、経営戦略の立案を支援することで、企業の競争力を強化します。

このように、AIは私たちの生活のあらゆる面で重要な役割を果たし、持続可能で効率的な未来を築くための鍵となる技術です。

短くする

人工知能(AI)は、データ解析とパターン識別を通じて私たちの生活に革新をもたらし、持続可能なソリューションを提供します。AIは自動化と個別化を通じて効率を高め、社会全体に意義ある変化をもたらす力を持っています。

良質な情報・ナレッジを作成

ONES Wiki
Copilot機能

良質な情報・ナレッジを作成

属性・カテゴリ

情報・ナレッジの発見

文章の要約

簡潔に	詳細に
<p>AIは自然法則に沿って進化し、データ解析で革新をもたらす、持続可能なソリューションを提供。自動化と個別化で生活を豊かにし、効率を高め、社会全体に意義ある変化を促す。</p>	<p>人工知能(AI)は、自然法則に基づいて進化し、実用的な問題を解決します。データ解析とパターン識別を通じて、生活に革新をもたらす、持続可能な解決策を提供します。AIの解決策は日常生活に密接に関連し、進歩ごとに新たな課題を克服し、イノベーションを促進します。自動化と個別化を通じて生活を豊かにし、効率を高めると同時に、社会全体に意義ある変化をもたらす力を持っています。</p>

文章の翻訳

翻訳(英語)	翻訳(中国語)
<p>Artificial Intelligence (AI) evolves and develops in accordance with natural laws to solve practical problems. This technology brings innovation to our lives and provides sustainable solutions by analyzing data and identifying patterns. The solutions generated by AI, like natural laws, are closely related to our daily lives, with each advancement overcoming new challenges and promoting further innovation. Through automation and personalization, AI enriches our lives, enhances efficiency, and has the power to bring meaningful changes to society as a whole.</p>	<p>人工智能(AI)是沿着自然法则进化和发展的,用于解决实际问题。通过分析数据和识别模式,这项技术为我们的生活带来革新并提供可持续的解决方案。AI产生的解决方案与自然法则一样,与我们的日常生活密切相关,每一个进步都能够克服新的挑战,促进进一步的创新。通过自动化和个性化,AI在提高我们的生活质量和效率的同时,也具备对整个社会带来有意义的改变的力量。</p>

良質な情報・ナレッジを作成

ONES Wiki
Copilot機能

良質な情報・ナレッジを作成

属性・カテゴリ

情報・ナレッジの発見

文章のつづきを書く

さらに、AI技術の進化により、新たな産業やビジネスモデルの創出が期待されています。例えば、ヘルスケア分野においては、患者の診断や治療計画の最適化、予防医療の推進など、より質の高い医療サービスの提供が可能となります。教育分野でも、個々の学習者に合わせたカスタマイズされた教育プログラムの提供が進められており、学習効果の向上が図られています。このように、AIは多岐にわたる分野で革新をもたらし、私たちの生活をより豊かで便利なものにする可能性を秘めています。

文章のアウトライン化

H1 AIの進化と実用性に関する詳細なアウトライン

H2 序論

- 人工知能（AI）の定義と重要性
 - 自然法則に沿った進化・発展
 - 実用的な問題解決のための技術

H2 AIの基本原則と技術

- データ解析とパターン認識
 - データ収集・整理の方法
 - パターン認識アルゴリズムの概要
- 機械学習とディープラーニング
 - 機械学習の基礎
 - ディープラーニングの応用例

H2 AIの実用的な応用

- 日常生活への影響
 - スマートホームとデジタルアシスタント
 - ヘルスケアと医療分野でのAI
- ビジネスと産業への応用
 - 製造業における自動化
 - 金融業におけるリスク管理と予測分析

H2 AIがもたらす革新と持続可能なソリューション

- 環境問題への対応
 - エネルギー効率の向上
 - 環境モニタリングと自然災害予測
- 社会の課題解決
 - 教育分野でのパーソナライズ学習
 - 公共交通機関の最適化

H2 AIが直面する課題

- 倫理的・社会的問題
 - プライバシーとデータセキュリティ
 - AIバイアスと公平性の課題
- 技術的課題
 - AIの透明性と説明可能性
 - スケーラビリティとリアルタイム処理

H2 未来の展望

- AIの進化と次世代技術
 - 人工汎用知能（AGI）の可能性
 - ヒューマンインターフェースの進化
- 社会におけるAIの役割
 - 労働市場への影響
 - 新たな職業とスキルの創出

▼ 結論

- AIの持続的発展のための提言
 - 教育とリテラシーの向上
 - 国際的な協力と規制の必要性

属性・カテゴリ

カテゴリのアドバイス

生成AIにページ単位でも質問ができます。
カテゴリに悩んだ時は、生成AIに質問してみてください。

ホームページ > 生成AI結果レポート ☆

編集 共有 設定 その他

生成AI結果レポート

大塚 和彦 2024年08月28日 15時12分に編集しました

元データ

人工知能 (AI) は、自然法則に沿って進化・発展し、実用的な問題を解決するためのものです。ああ、この技術は、データを解析しパターンを識別することで、私たちの生活に革新をもたらし、持続可能なソリューションを提供します。AIが生み出す解決策は、自然法則と同様に、私たちの日常生活に密接に関連しており、それぞれの進歩が新たな課題を克服し、さらなるイノベーションを促進します。自動化と個別化を通じて、AIは私たちの生活を豊かにし、効率を高める一方で、社会全体に意義ある変化をもたらす力を持っています。

改善

人工知能 (AI) は、自然法則に沿って進化・発展し、実用

アウトライン 注釈 Copilot

現在ページは、どのカテゴリに登録した方がよいですか?

● 回答が生成されました。

現在のページは「AIの実用的な応用」カテゴリに登録するのが適切です。理由として、ページの内容がAIのデータ解析やパターン識別を通じて、医療、環境保護、スマートホーム、自動運転など、日常生活やビジネス分野での具体的な応用例を詳述しているためです。

回答は以下の内容に基づいて作成されています... ①

1 生成AI結果レポート

続きを質問する 複製 共有

全文検索

ONES Wiki
Copilot機能良質な情報・ナ
レッジを作成

属性・カテゴリ

情報・ナレッジ
の発見

全文検索

ONES Wikiは、添付ファイルの中身を含めた全文検索ができます。
生成AIだけでなく、全文検索によって情報・ナレッジを発見することができます。

The screenshot shows the ONES Wiki search interface. The search bar contains the text "生成AI". The search results are displayed in a list format. Two callout boxes highlight specific search results:

- プロジェクト管理の検索結果** (Project Management Search Results):

プロジェクト管理	
課題	15
プロジェクト	0
ファイル	9
- ナレッジ管理の検索結果** (Knowledge Management Search Results):

ページ	20
スペース	0
添付ファイル	8

The search results list includes the following items:

- 生成AI結果レポート
- 生成AI結果レポート 元データ 人工知能 (AI) は、自然法則に沿って進化・発展し、実用的な問題を解決するが あああ、この技術は、データを解析し
- デモ 大塚 和彦 が 2024-08-28 15:12 に更新しました
- 2024-09-04 | 生成AIで実現する「成果の出る」ナレッジ管理の方法とは ~いままでのナレッジ管理に成果を
- 2024-09-04 | 生成AIで実現する「成果の出る」ナレッジ管理の方法とは ~いままでのナレッジ管理に成果を 決策~ 1.概要 開催名称 未定 開催期間 2024/09/04 (水
- 活動 | イベント・セミナー 澁谷 菊恵 が 2024-07-19 09:25 に更新しました
- SC19期 下期_部門方針および目標
- ーティブプロバイダー」とは、業務プロセスの改善を目的とした、生成AIを活用したサービスのこと とあり AIに特化していないので) 何か違う気がしました。澁谷・動画コンテンツの作成と公開について→製品
- 部門活動 今瀬 文那 が 2024-06-28 09:39 に更新しました
- 2024-08-14 会議議事録

全文検索

ONES Wiki
Copilot機能

良質な情報・ナ
レッジを作成

属性・カテゴリ

情報・ナレッジ
の発見

生成AIへの質問からの返答

ONES Wiki内の情報・ナレ
ッジから返答を生成

生成元データを表示

深掘りする質問を提案

このスクリーンショットは、Copilotの検索インターフェースを示しています。上部には「< 戻る」のリンクと「Copilot に聞く」のタイトルがあります。検索入力欄には「生成AIについて教えてください」と入力されており、その右側には「聞く」ボタンと閉じるアイコン（×）があります。

ビジネス環境の課題

ナレッジ管理を行う理由と課題

ナレッジ管理を促進する方法

ナレッジ管理の未来

ナレッジ管理ツール『ONES Wiki』

『ONES Wiki』の生成AI機能

利用するには

生成AIによるナレッジ管理の実現
について

ライセンス体系と価格

ONES製品は原則として、ナレッジ管理「ONES Wiki」と『ONES Project』の2つがセットになったプロダクトです。プランによって機能が異なりますが、オンプレミス版はエンタープライズプランのみの提供となります。

価格体系
無料のEラーニング
日本語サポート
評価のお申し込み

SaaS版のみ

SaaS版のみ

SaaS版のみ

オンプレミス版
もしくは
SaaS版を選択

フリー	スタンダード	ビジネス	エンタープライズ
プロジェクト管理ツールの導入が初めての方へ	プロジェクト管理における進捗追跡を効率化させたい方へ	ビジネス現場における全般のプロジェクトを管理されたい方へ	業務最適化により企業の競争力を強化されたい方へ
0 円/月 永久無料	年間契約 30% オフ 840 円/ユーザー/月 月額 1,200 円/1ユーザー/月	年間契約 30% オフ 1,920 円/ユーザー/月 月額 2,880 円/1ユーザー/月	年間契約 30% オフ 2,880 円/ユーザー/月 月額 4,080 円/1ユーザー/月
製品 (機能制限あり)	製品 (機能制限あり)	製品	製品
 ONES Project  ONES Wiki	 ONES Project  ONES Wiki	 ONES Project  ONES Wiki  ONES Resource  ONES Plan  ONES Automation  Pipeline Integration  ONES Account  Code Integration	 ONES Project  ONES Wiki  ONES Resource  ONES Plan  ONES Automation  Pipeline Integration  ONES Account  Code Integration  ONES Performance
Cloud	Cloud	Cloud	Cloud On-Premises

※1 価格は税抜です。
※2 一部のプロダクトはCloudとOn-Premisesにより利用可能な機能が異なる場合があります。

有料プランでは、
アドオンオプションをご提供します



月額：600円/ユーザー

ライセンス体系と価格

ONES製品は原則として、ナレッジ管理「ONES Wiki」と『ONES Project』の2つがセットになったプロダクトです。プランによって機能が異なりますが、オンプレミス版はエンタープライズプランのみの提供となります。

価格体系
無料のEラーニング
日本語サポート
評価のお申し込み

SaaS版のみ	SaaS版のみ	SaaS版のみ	オンプレミス版 もしくは SaaS版を選択
<p>フリー</p> <p>プロジェクト管理ツールの導入が初めての方へ</p> <p>0 円/月 永久無料</p> <p>主な機能</p> <p>プロジェクト管理・タスク管理</p> <ul style="list-style-type: none"> プロジェクトテンプレート スプリント管理 バックログ カスタムダッシュボード ビュー(リスト、テーブル、カンバン) パブリックビュー・プライベートビュー カスタムワークフロー カスタムフィールドと課題タイプ <p>ナレッジ管理</p> <ul style="list-style-type: none"> Wikiテンプレート スペースとページの権限管理 履歴バージョン フローチャート <p>アクセス制御</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザーのロールと権限 <p>外部連携</p> <ul style="list-style-type: none"> Open API Zapier Slack Figma Google サインイン Microsoft Team <p>Cloud</p>	<p>スタンダード</p> <p>プロジェクト管理における進捗追跡を効率化させたい方へ</p> <p>年間契約 30% オフ 840 円/1ユーザー/月 月額 1,200 円/1ユーザー/月</p> <p>主な機能</p> <p>フリー以下の全機能に加えて</p> <p>プロジェクト管理・タスク管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ガントチャート マイルストーンと成果物 タスクの依存関係 ワークフロー自動化 <p>ナレッジ管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ページの外部公開 <p>Cloud</p>	<p>ビジネス</p> <p>ビジネス現場における全般のプロジェクトを管理されたい方へ</p> <p>年間契約 30% オフ 1,920 円/1ユーザー/月 月額 2,880 円/1ユーザー/月</p> <p>主な機能</p> <p>スタンダード以下の全機能に加えて</p> <p>プロジェクト管理・タスク管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ロードマップ 自動化ルール リソース管理 プロジェクトポートフォリオ管理 <p>ナレッジ管理</p> <ul style="list-style-type: none"> マインドマップ スプレッドシート <p>アクセス制御</p> <ul style="list-style-type: none"> Google SSO 監査ログ Azure SSO 多要素認証(MFA) <p>外部連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 構成管理ツール連携 Jenkins連携 <p>Cloud</p>	<p>エンタープライズ</p> <p>業務最適化により企業の競争力を強化されたい方へ</p> <p>年間契約 30% オフ 2,880 円/1ユーザー/月 月額 4,080 円/1ユーザー/月</p> <p>主な機能</p> <p>ビジネス以下の全機能に加えて</p> <p>プロジェクト管理・タスク管理</p> <ul style="list-style-type: none"> チーム全般のパフォーマンス分析 <p>アクセス制御 (オンプレミスのみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> LDAP/AD CAS 2.0 SAML 2.0 API <p>Cloud On-Premises</p>

無料のEラーニング（チーム全員が利用可能）

ONES製品は、無料のEラーニングサービスを提供しています。

このサービスは誰でも利用することができます。ONES製品を利用するチーム組織の全従業員は、いつでも、どこでもONES製品の勉強を行うことができます。



<https://academy.ones.com/home-ja>

ONES Academy

公式トレーニングでONES.comの使い方を学び、スキルアップを目指しましょう！
ONES Academyは、ユーザーがONES.comを効果的に活用できるように、ONES.comの基本的なコンセプト、仕組み、機能、操作の流れなどを説明しています。

おすすめのコース

 <p>Confluence Migration Tool</p>	 <p>Jira Migration Tool</p>
移行 Confluence 移行	移行 Jira 移行
ONES.comのデータ移行の機能を学び、ONES.comの提供するセルフ移行ツールを利用して円滑なConfluence移行を実現しましょう！	ONES.comのデータ移行の機能を学び、ONES.comの提供するセルフ移行ツールを利用して円滑なJira移行を実現しましょう！

ONES.com 入門編

ONES.comを初めて利用する方

 <p>ONES System Administrator Training</p>	 <p>ONES Basic Course</p>	 <p>ONES System Administrator Training</p>
管理者向け研修 ONES.com システム管理者向け研修	基本 ONES.com ファンダメンタルズ	管理者向け研修 ONES Project 管理者向け研修
ONES Project、ONES Wiki、ONES TestCaseなどの製品のコンセプト、機能、操作を学び、ONES.comをチームに最適なワークスペースにカスタマイズしましょう！		
 <p>ONES System Administrator Training</p>	 <p>ONES System Administrator Training</p>	
管理者向け研修 ONES Wiki 管理者向け研修	管理者向け研修 プロジェクト 管理者向け研修	

ONES 製品
の利用について

価格体系

無料のEラーニング

日本語サポート

評価のお申し込み

充実した日本語マニュアル

日本語でわかりやすい充実したマニュアルは、ONES製品の利用を手助けします。

https://ja.docs.ones.com/

チームアップなら ONES.com にお任せ

The screenshot displays the ONES.com Japanese documentation website. At the top, the URL 'https://ja.docs.ones.com/' is shown. Below it, the main heading reads 'チームアップなら ONES.com にお任せ'. The page features a search bar with the placeholder text 'Ask or search...'. A navigation menu is visible on the left, listing various topics such as 'はじめに', 'さあ、始めましょう', '契約プランについて', 'サブスクリプション管理', '組織とチーム', 'チームをセットアップする', '組織を管理する', 'チームを管理する', '権限について', 'サードパーティー連携', 'チームメンバーを管理する', 'ONES PROJECT', 'ONES Project とは?', 'プロジェクト', 'コンポーネント', '共通コンポーネント', '課題タイプコンポーネント', 'スクラム開発のコンポーネント', 'ウォーターフォール開発のコンポーネント', and 'その他の機能コンポーネント'. A central dropdown menu is open, showing categories like 'データ移行', 'ONES アプリ', 'アカウント・ライセンス', 'SETTINGS', '運用保守ツールキット', and 'ONES モバイル'. The main content area on the right contains text about integrating ONES with other tools and a section titled 'ON THIS PAGE' with links to '要件管理', 'タスク管理', 'スプリント管理', 'バグ管理', 'プロジェクト進捗管理', and 'リリース管理'.

ONES Project でプロジェクト工程を効率化するには

ONES 製品
の利用について

価格体系

無料のEラーニング

日本語サポート

評価のお申し込み

評価のお申し込み

The screenshot shows the ONES website homepage. At the top, there is a navigation bar with the ONES logo and menu items: 製品, ソリューション, リソース, 料金プラン. A '無料トライアル' button is highlighted with a red box in the top right corner. The main content area features the headline '製品のリリースを素早く、スムーズに' and a sub-headline 'プロジェクト、タスク、ドキュメント、テストケース、その他様々な機能を使って製品の開発体験をリフレッシュしましょう。'. Below this, there is a form with a text input field labeled '勤務先メールアドレスを入力' and a '無料トライアル' button, both highlighted with a red box. To the right of the form is a diagram showing various ONES product icons like ONES TestCase, ONES Project, and ONES Wiki. At the bottom of the page, there are three buttons: '計画と追跡', 'テストとリリース', and 'コラボレーション'.

<https://ones.com/ja/>

 =ここから評価を開始してください

ビジネス環境の課題

ナレッジ管理を行う理由と課題

ナレッジ管理を促進する方法

ナレッジ管理の未来

ナレッジ管理ツール『ONES Wiki』

『ONES Wiki』の生成AI機能

利用するには

生成AIによるナレッジ管理の実現
について

仕組みと制度をつくること

仕組みと制度が意識を変える

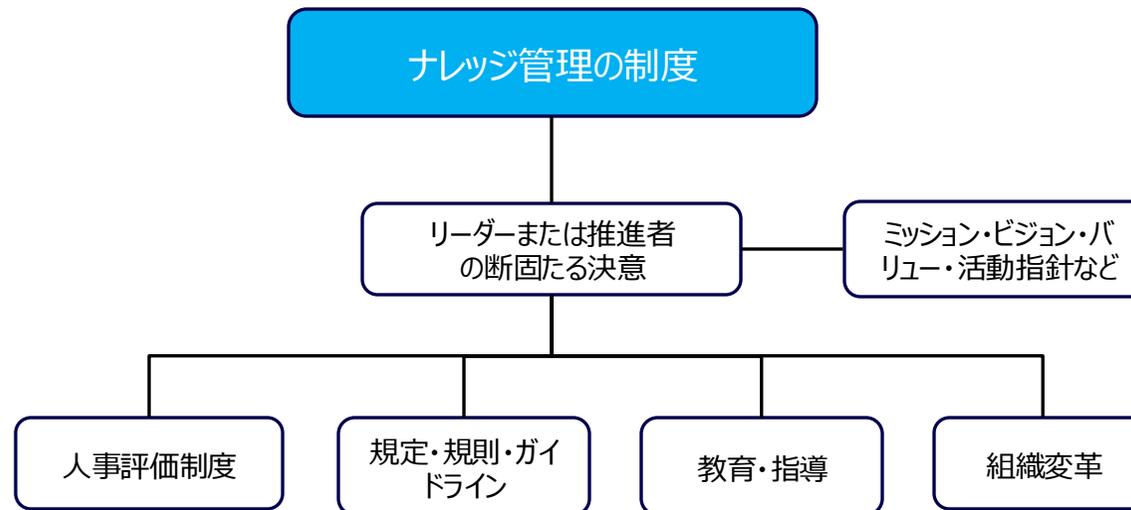
仕組みはガイドラインに書いてある

AIに関するガイドライン

AIと適切な関係になるために

私たちのサービス

最初にやるべきこと



- 責任部門や推進部門
- ナレッジマネジメント
 - AIマネジメント
 - イノベーションマネジメント
 - 人事戦略マネジメント

仕組みと制度をつくること

仕組みと制度が意識を変える

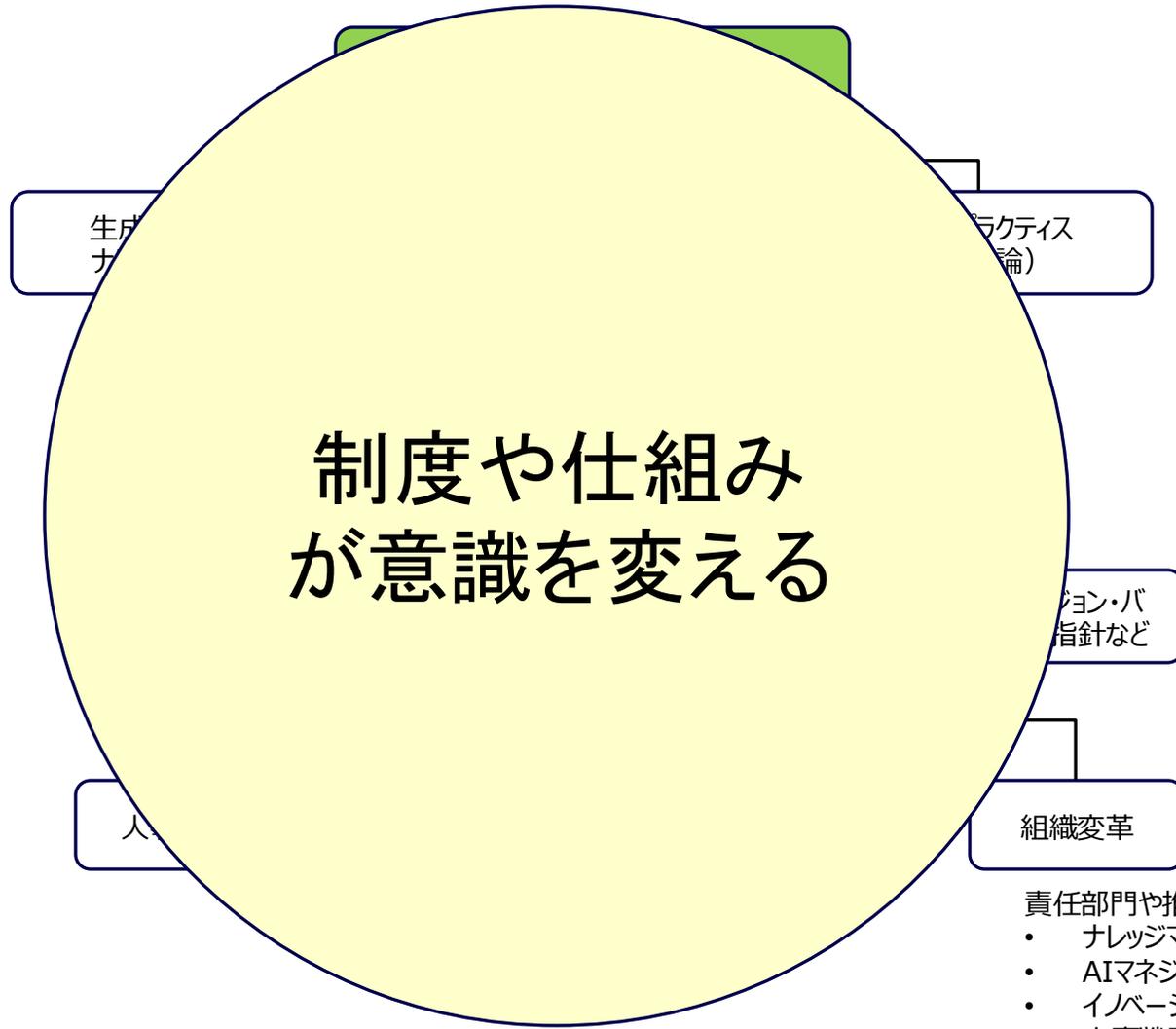
仕組みはガイドラインに書いてある

AIに関するガイドライン

AIと適切な関係になるために

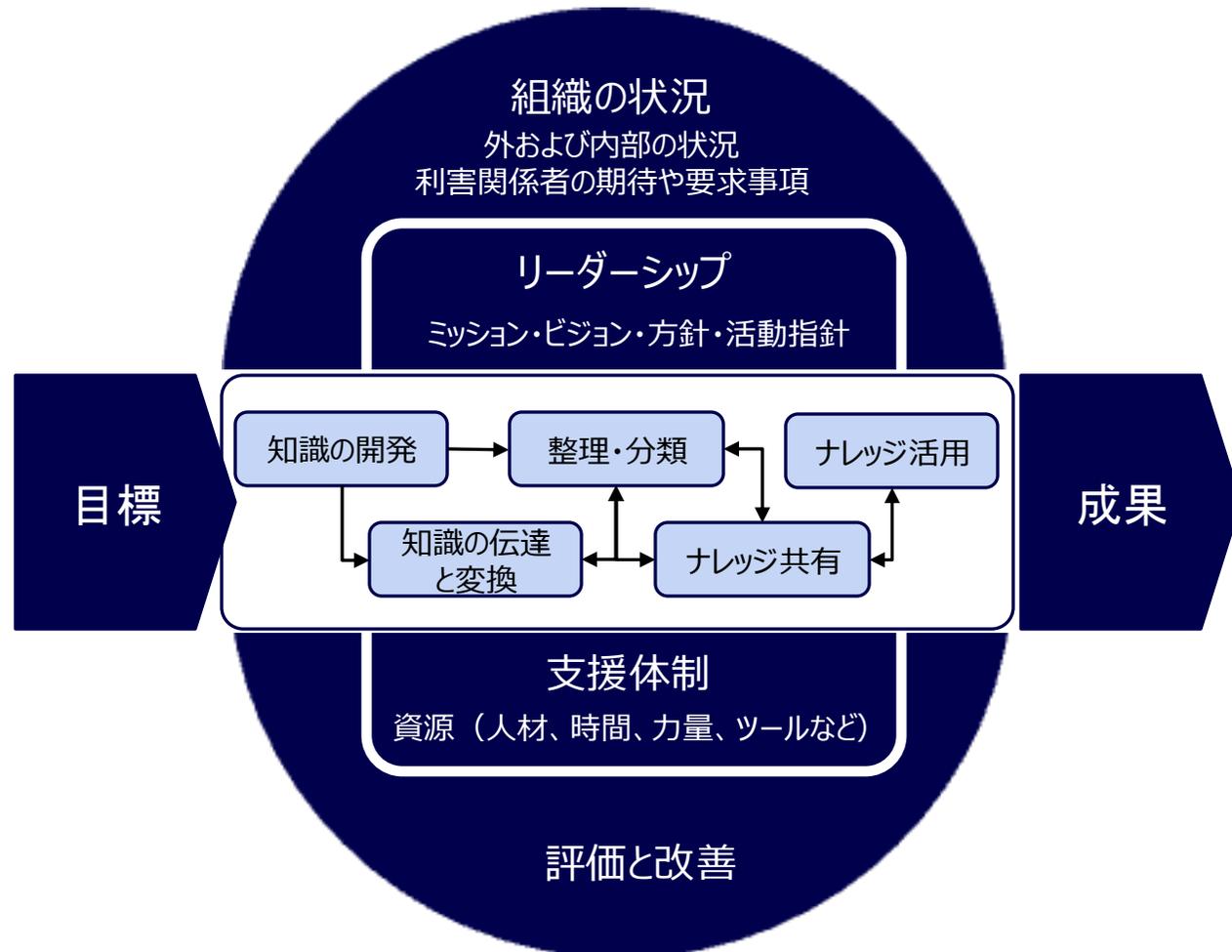
私たちのサービス

最初にやるべきこと



- 責任部門や推進部門
- ナレッジマネジメント
 - AIマネジメント
 - イノベーションマネジメント
 - 人事戦略マネジメント

制度や仕組みのガイドライン



ISO30401(ナレッジ・マネジメントシステム)
ナレッジ管理を成功させる要素は、すべて記載されています。

仕組みと制度が
意識を変える

仕組みはガイド
ラインに書いてある

AIに関するガイド
ライン

AIと適切な関係
になるために

私たちのサービス

最初にやるべきこ
と

AI活用の制度と仕組みについて

AI利用の国際標準規格：ISO42001（AIマネジメントシステム）

ISO42001の目的

ISO/IEC 42001規格は、テクノロジーが急速に進化しているにもかかわらず、AIを責任を持って効果的に使用するために必要な包括的なガイダンスを組織に提供しています。人工知能のさまざまな側面と組織が実行している可能性のあるさまざまなアプリケーションをカバーするように設計されており、リスク評価からこれらのリスクの効果的な処理まで、AIプロジェクトを管理するための統合アプローチを提供します。

Apple Cardに発覚した“性差別”問題から、「性別を見ないアルゴリズム」に潜むリスクが浮き彫りに

アップルが米国でサービスを開始したクレジットカード「Apple Card」が、性差別問題に直面している。発行時に付与される利用限度額が、男性より女性のほうが低いというのだ。発行元であるゴールドマン・サックスによると、性別データはアルゴリズムに入力されていないという。しかし、実は性別データが不在であることで、そもそもバイアスの検証が困難になるという問題が潜んでいる。



「わたしたちは危険をコントロールしながら新技術の可能性を実現する使命がある」。まさに「もろ刃の剣」ともいえるAIの未来とは

AI × ビジネスカンファレンス「WIRED Singularity powered by デロイト トーマツ グループ AI Experience Center」で共有された、企業やイノベーターたちのビジョン。

IN COLLABORATION WITH DELOITTE TOHMATSU GROUP



仕組みと制度が意識を変える

仕組みはガイドラインに書いてある

AIに関するガイドライン

AIと適切な関係になるために

私たちのサービス

最初にやるべきこと

AI活用の制度と仕組みについて

ISO42001が求めるリスクの分類と評価基準は以下となります。

AI利用に関するリスクの分類

リスクレベル	説明	例
最小リスク	リスクが最も低く、ユーザーの権利や安全に大きな影響を与えない。特別な規制や管理は不要。	スパムフィルター、ビデオゲーム
限定リスク	ユーザーに一定のリスクが存在するため、明確な情報提供が求められる。	カスタマーサポートAI、推薦システム
高リスク	健康、生命、安全、または基本的人権に直接影響を与える可能性があり、厳格な監査が必要。	医療AI、バイオメトリクス監視システム
許可されないリスク	倫理的・法的理由により、使用が禁止されるべきリスクの高いAIシステム。	リアルタイム監視システム、感情認識システム

AI利用に関するリスク評価基準

評価基準	説明
AIの意図した目的と利用	AIが使用される状況と、その結果を評価する。
影響を受ける個人や社会の規模	AIが個人の権利や社会全体にどの程度影響を与えるか。
自動化のレベル	AIが自律的に判断を下す度合い。
透明性と説明可能性	AIの意思決定プロセスが理解可能かどうか。

仕組みと制度が意識を変える

仕組みはガイドラインに書いてある

AIに関するガイドライン

AIと適切な関係になるために

私たちのサービス

最初にやるべきこと

AI活用の制度と仕組みについて

ISMS情報資産台帳をもとに生成AIやAPIアクセスなどの取り扱いを定義する

情報資産管理台帳

業務分類	情報資産名称	備考	利用者範囲	管理部署	媒体・保存先	個人情報の種類			評価値			
						個人情報	要配慮個人情報	特定個人情報	機密性	完全性	可用性	重要度
人事	社員名簿	社員基本情報	人事部	人事部	事務所PC	有			3	1	1	3
人事	社員名簿	社員基本情報	人事部	人事部	書類	有			3	3	3	3
人事	健康診断の結果	雇入時・定期健康診断	人事部	人事部	書類		有		3	3	2	3
経理	給与システムデータ	税務署提出用源泉徴収票	給与計算担当	人事部	事務所PC			有	3	3	2	3
経理	当社宛請求書	当社宛請求書の原本(過去3年分)	総務部	総務部	書類				2	2	2	2

仕組みと制度が意識を変える

仕組みはガイドラインに書いてある

AIに関するガイドライン

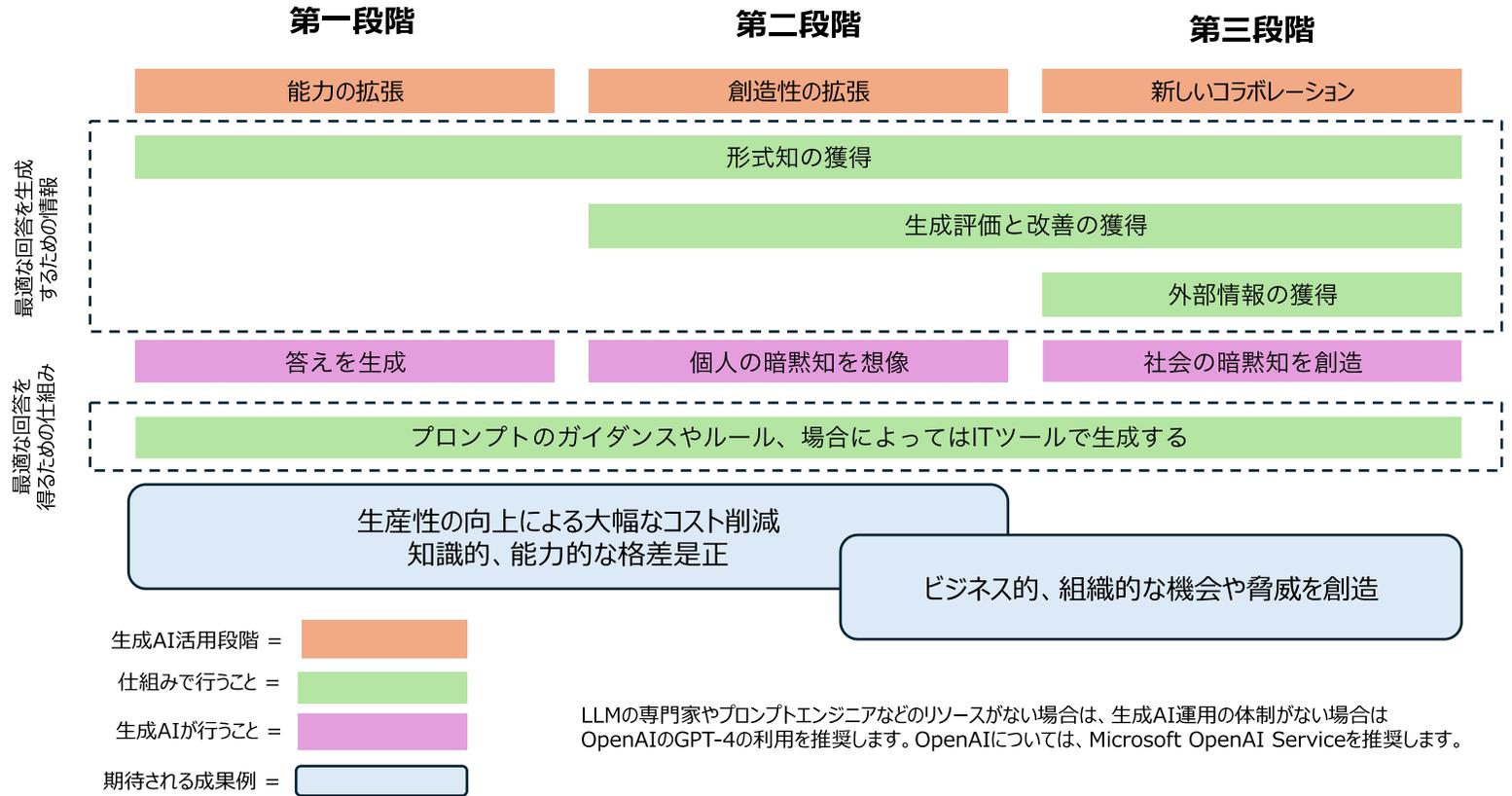
AIと適切な関係になるために

私たちのサービス

最初にやるべきこと

AIと適切な関係となるために

いきなり結果を求めないこと（育てることが大切）



LLMの専門家やプロンプトエンジニアなどのリソースがない場合は、生成AI運用の体制がない場合はOpenAIのGPT-4の利用を推奨します。OpenAIについては、Microsoft OpenAI Serviceを推奨します。

仕組みと制度が意識を変える

仕組みはガイドラインに書いてある

AIに関するガイドライン

AIと適切な関係になるために

私たちのサービス

最初にやるべきこと

AIと適切な関係となるために

生成AIとの最適な関係を築くための力量

- **クリティカルシンキング**

クリティカルシンキング（批判的思考）とは、現状の課題・問題が何か、その事象を「批判的」に捉えて、本質的な課題は何か、それに対する仮説・回答は何かということを網羅的に、かつ深く考え抜く思考法のことをいいます。組織でクリティカルシンキングを活用することで、主体的解決者として、計画立案や問題解決、そして意思決定の基盤・技術を築くことができます。また分析、推論、伝達といったクリティカルシンキング・スキルは円滑なコミュニケーションにおいても重要です。

- **プロンプトエンジニアリング**

AI（人工知能）から望ましい出力を得るために、指示や命令を設計、最適化するスキルのことです。ChatGPTなどの生成AIを使いこなすために注目されるようになりました。生成AIは、命令（プロンプト）の出し方によって、出力されるコンテンツの質が大きく異なるため、より適切なものを入力するスキルが求められています。

- **ガバナンス・コンプライアンス、ポリシー**

AIガバナンスとは、人工知能(AI)の開発と利用を倫理的・法的・社会的基準に沿って監督・管理することで、AIによる事故やAI活用に伴うリスクへの対策を行う枠組みのことを指します。

仕組みと制度が意識を変える

仕組みはガイドラインに書いてある

AIに関するガイドライン

AIと適切な関係になるために

私たちのサービス

最初にやるべきこと

企業がAIを活用することについて

博報堂DYグループがAIポリシーを公開



https://www.hakuhodody-holdings.co.jp/ai_policy/

ポリシーやガイドラインを作成しておきましょう

仕組みと制度が意識を変える

仕組みはガイドラインに書いてある

AIに関するガイドライン

AIと適切な関係になるために

私たちのサービス

最初にやるべきこと

最後に

株式会社システムコンシェルジュは、ITツールを通じて、組織に仕組み化を実現し、定着させるプロフェッショナルです。

仕組みと制度が意識を変える

仕組みはガイドラインに書いてある

AIに関するガイドライン

AIと適切な関係になるために

私たちのサービス

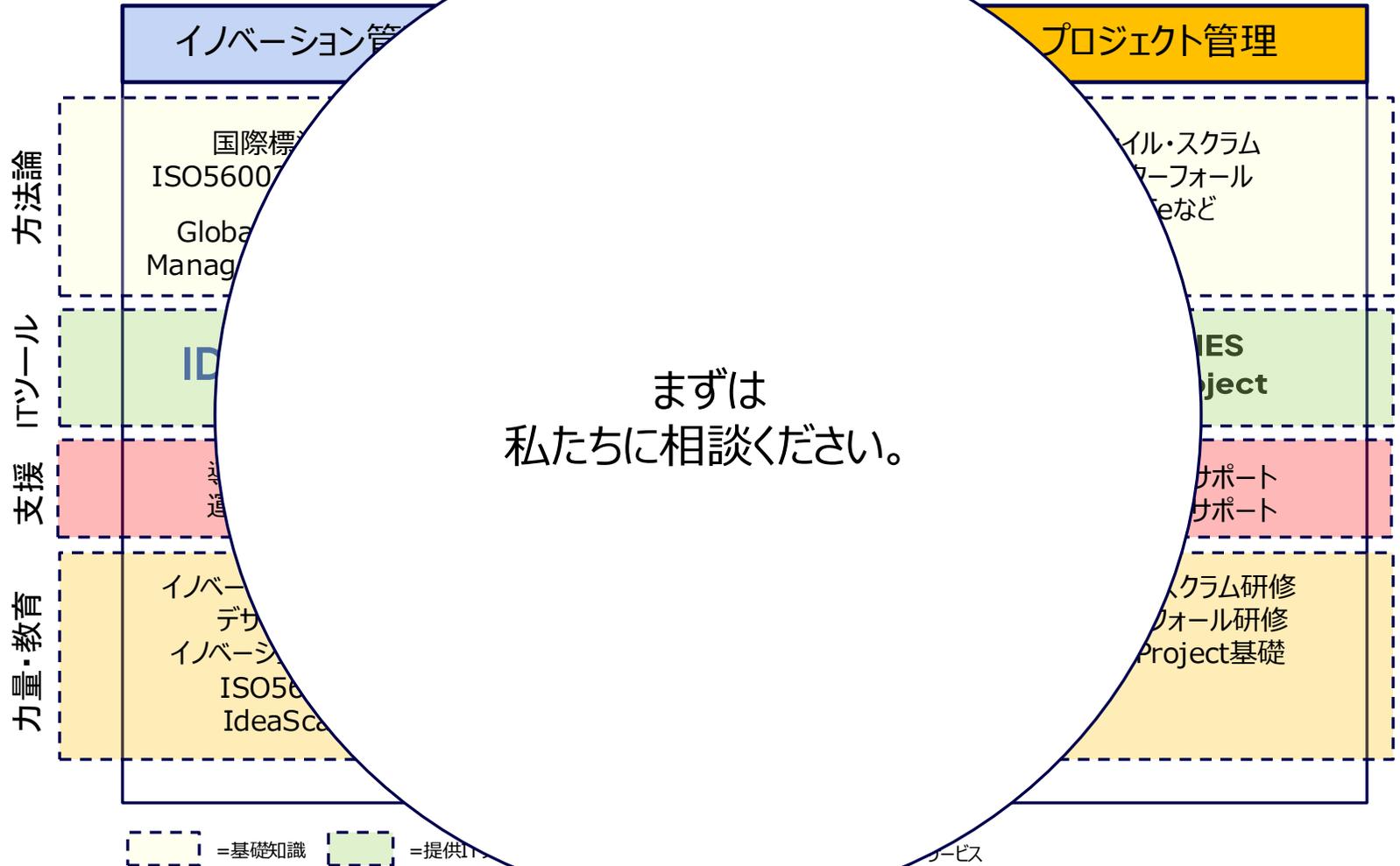
最初にやるべきこと

	イノベーション管理	ナレッジ管理	プロジェクト管理
方法論	国際標準規格 ISO56002/ISO56001 Global Innovation Management Institute	国際標準規格 ISO30401/ISO42001 日本文書情報マネジメント	アジャイル・スクラム ウォーターフォール SAFeなど
ITツール	IDEASCALE	ONES Wiki	ONES Project
支援	導入支援サポート 運用支援サポート	導入支援サポート 運用支援サポート	導入支援サポート 運用支援サポート
力量・教育	イノベーション人材育成研修 デザイン思考研修 イノベーション・ワークショップ ISO56002概論 IdeaScale基礎	ISO30401概論 ONES Wiki基礎	アジャイル・スクラム研修 ウォーターフォール研修 ONES Project基礎

 =基礎知識
 =提供ITツール
 =教育サービス
 =サポートサービス

最後に

株式会社システムコンシェルジュは、ITツールを通じて、組織に仕組み化を実現し、定着させるプロフェッショナルです。



仕組みと制度が意識を変える

仕組みはガイドラインに書いてある

AIに関するガイドライン

AIと適切な関係になるために

私たちのサービス

最初にやるべきこと

ホームページ : <https://systemcon.co.jp/contact/>

お客様のニーズに応じたソリューションをご用意しております。各種お問い合わせ、ご質問など、お気軽にフォームよりご連絡ください。

製品・サービスに関するお問い合わせ

製品・サービスに関するお問い合わせはこちら



取材に関するお問い合わせ

メディア・製品などの取材に関するお問い合わせはこちら



資料ダウンロード

製品・サービスなどの資料やホワイトペーパーのダウンロードはこちら



情報 / インターンシップ

一緒にイノベーションを引き起こす人材を募集しています。詳しくは知りたい方はこちらから



仕組みと制度が意識を変える

仕組みはガイドラインに書いてある

AIに関するガイドライン

AIと適切な関係になるために

私たちのサービス

最初にやるべきこと

ホームページ : <https://systemcon.co.jp/contact/>

電話番号 : 03-5577-5735

メール : eigyo@systemcon.co.jp

ご清聴ありがとうございました。

皆さまからのお問い合わせをお待ちしております。

株式会社システムコンシェルジュ
大塚 和彦